

## 第七章 鑛山事業ノ概況

### 一新ニ事業ニ着手シタル鑛山

壽都鑛山

金銀銅 鑛業權者 置 後志國壽都郡壽都町 武田恭作

先年ヨリ準備中ノ處四十二年ニ至リ漸ク操業ヲ開始ス探鑛ノ方法ハ上向階段法トス運搬ハ横坑ニ於テハ九封度軌條ヲ布設シ半噸積鑛車ヲ以テ豎坑下ニ鑛石ヲ送出シ蒸氣捲揚機ニ依リ坑外ニ之ヲ搬出シ手選ノ上選鑛ヲ椿鑛山ニ送ル

目津府鑛山

滿俺鑛 鑛業權者 置 後志國瀨棚郡利別村 村上金藏

四十二年ニ入リ事業ニ着手ス探鑛方法ハ殘柱式ニシテ坑内運搬ニハ坑道ニ九太ヲ敷キ人曳木製箱橇ヲ用ユ又選鑛ニハ鑛石ヲ十五分ノ一ノ傾斜ノ木樋ヲ通シテ流水ニ依リ選鑛場ニ送り「ドロ」ンメル」及跳汰機ニテ選鑛ス其運轉用トシテ約三馬力ノ木製水車一基ヲ設備セリ鑛石ハ精鑛ノ儘之ヲ販賣ス

水澤鑛山

金銀銅 鑛業權者 置 秋田縣山本郡澤目村 武田恭作

本鑛山ハ休業中ノ處現鑛業權者ニ移轉セシ以來大ニ前途ニ屬望シ再ヒ事業ニ着手シ目下鑛夫五十餘人ヲ使役シ探鑛ヲ主トシ同時ニ探掘ヲ爲シ鑛石ハ椿鑛山ニ送ル

増田鑛山

金銀銅 鑛業權者 置 秋田縣雄勝郡西成瀬村 武田恭作

本鑛山ノ露頭ハ二箇所アリ其一方ハ銅鑛探掘ノ目的ヲ以テ探鑛兼開坑ヲ爲シ下部ニ大切坑ヲ開鑿シ又他方ニハ黑鑛ノ露天掘ヲ行ヒ一箇月約十三四萬貫ノ出鑛ヲ見ルニ至リシモ黑鑛ハ銀塊價格ノ恢復ヲ待チ探掘スルコト、シ單ニ銅鑛ノ探掘ヲ繼續シ八匁以上ノ銅鑛一箇月約一萬貫以上ヲ探掘スルノ豫定ナリ

宮澤鑛山

金銀 鑛業權者 置

福島縣南會津郡伊南村

本鑛山ニ於テハ一箇月三千斤ノ製銅ヲ得ル目的ヲ以テ選鑛場(手選箆揚法ニ依ル)燒鑛場(燒鑛窯六個)燒鈹窯三個及製鍊場(山下爐一座)ヲ設置シ操業ヲ開始セリ

千葉鑛山

金鑛

鑛業權者 置

宮城縣本吉郡御嶽村

本鑛山ハ四十一年九月ノ許可ニ係リ四十二年ニ於テ始メテ探掘ニ着手シ同六月ニ至リ搗鑛製鍊ヲ開始セリ而シテ搗鑛場ニハ木製杵十本立ノ搗鑛器一臺及水車一臺ヲ設置ス本山ニ於ケル鑛床ハ鑛區ノ北東ヨリ南方ニ走レル鑛脈一條ト中央ニ存在スル鑛染網床帶トヨリ成リ其網狀ヲ爲セル鑛脈中ニハ金ノ痕跡ヲ認メサルコトナシ

柱田鑛山

金銀鑛

鑛業權者 置

福島縣伊達郡柱澤村

本鑛山ハ四十二年ノ始業ニ係リ其鑛床ハ正規鑛脈ナリ而シテ主要鑛物ハ合金輝銀鑛ニシテ時ニ自然銀ヲ見ルコトアリ

平ノ松鑛山

銅鉛鑛

鑛業權者 置

岩手縣和賀郡湯田村

本鑛山ハ荒銅一箇月約百三十五貫ヲ得ル目的ヲ以テ選鑛場製鍊場ヲ建設シ目下操業セリ

赤柴鑛山 金 鑛 位 置 長野縣埴科郡豐榮村 田 中 三 郎

本鑛山ハ明治初年土民ノ開山セシモノニシテ降テ同五六年及二十七八年ニ稼行セシ者アリシカ  
鎔鑛用木炭高價ノ爲メ收支償ハス休山セシヲ四十二年九月現鑛業權者ニ依リ再興セラレ其探鑛  
ヲ日立鑛山ニ賣却スルノ計畫ヲ立テ先ニ開鑿セル二坑道ヲ取明ケ探鑛スル外兩坑道ノ六七十尺  
ヨリ疏水道ヲ切り既ニ六十尺ヲ掘進シ遠カラス鑛床ニ會着スル豫定ナリ而シテ十月ヨリ十一月  
末ニ至ル間ノ探鑛量ハ一萬千三百四十貫ニシテ其含銅七%含銀〇〇一%ナリト云フ

大日向鐵山 鐵 鑛 位 置 長野縣南佐久郡大日向村 桑 原 三 郎

本鑛山ニハ數年前ヨリ先ツ木醋製造ヲ副業トスル木炭製造ヲ開始シ一晝夜二千四百貫ヲ使用シ  
畧ホ一箇年半ノ鎔鑛ニ堪ユヘキ木炭ヲ一貫目僅ニ二錢ヲ以テ製出スルコトヲ得タルニ依リ之カ  
運搬ノ爲メ玉村式鐵索架設ノ計畫中ナリ又一昨年末ヨリ製鍊場ヲ建築シ七月ヨリ操業ヲ開始シ  
タルモ鎔鑛ノ成績良好ナラサルヲ以テ爾來操業方法ノ講究中ナリ鑛石ハ磁鐵鑛ニシテ其形扁豆  
狀ヲ爲シ大ナルモノハ五萬貫以上ニ達スルモノアリ現今此等鑛塊ヲ露頭ヨリ探掘シ居レリ製鍊  
ハ一晝夜五噸ノ銑鐵ヲ產出スヘキ豫定ニシテ先ツ鑛石ヲ高サ二十尺徑四尺ノ石造煨燒爐二個ニ  
依リ燒鑛シ高サ三十尺羽口水準徑六尺ノ石造高爐一臺ニテ製鍊ス又多管式汽罐一基三十六馬力  
横置單管汽機一臺ノ外「クラツシャ」用六馬力ノ汽機一臺ヲ設置セリ

高取鑛山 金 銀 錫 鑛 位 置 茨城縣東茨城郡岩船村、西茨城郡七倉村 重石鑛 鑛業權者 池 田 一 郎

本鑛山ノ鑛床ハ古生紀岩層中ノ石英脈ニシテ多量ノ「ウルフラマイト」鐵錳重石鑛ヲ含有ス其數五

條互ニ平行シ内二條ノ鑛脈ハ其優ナルモノニ屬シ各幅一尺六寸ヲ有ス四十二年八月初メテ事業ニ着手シ右二條ノ鑛脈ニ對シ四箇所ヨリ鉋押掘ヲ爲セリ而シテ鑛石ハ手選法ニ依リ「ウルフラマイト」ヲ選出シ鑛尾ハ手動跳汰機及圓汰盤ヲ以テ淘汰ス品位ハ「タングステン」酸六十八乃至七十%ナリト云フ

## 大倉鑛山 銀銅鑛

位 置 岐阜縣益田郡高根村  
永田吉右衛門  
鑛業權者

本鑛山ノ鑛床ハ古生紀角岩中ニ介在セル層狀脈ニシテ南六十度西ニ走リ西北六七十度ノ傾斜ヲ爲スモノ二條アリ而シテ其一ハ一尺五寸乃至二尺ニシテ方鉛鑛ヲ主トシ黃金鑛、閃亞鉛鑛及稀ニ黃銅鑛ヲ伴ヒ又他ノ一條ハ幅五尺ノ酸化鑛脈ニシテ此等鑛脈ノ間ニハ更ニ幅四寸ノ方鉛鑛脈ヲ存セリ四十二年初メテ事業ニ着手シ前記鑛床ノ鉋押探鑛ヲ爲シ開坑ニ從事セリ八月ノ調査ニ依レハ第一坑道百八十間、第二坑道五十八間、第三坑道七十三間ノ外本谷坑三間及第三坑道ト舊坑トヲ連絡スルモノ五十間ヲ掘進シ尙ホ日本式燒釜及鎔鑛爐ノ建設計畫中ナリ

## 藥丸鑛山 金銀鑛

位 置 茨城縣那珂郡山方村  
鑛業權者 石塚清武

本鑛山ノ鑛床ハ小佛古生層ニ屬スル砂岩及頁岩ノ互層中ニ存スル數條ノ含金石英鑛脈ニシテ何レモ其幅十二尺ヨリ二十三尺ニ達シ含金百萬分ノ三乃至十萬分ノ三ナリ四十一年末ヨリ小規模ノ混汞製鍊場ヲ新設シ收金試驗中ノ處四十二年七月ヨリ產出ヲ爲スニ至リ同年中ニ於テ金十貫三百五十五匁ヲ產出ス而シテ現今製鍊ノ設備ハ「ブレーキ」碎鑛機一臺、七百「ボンド」スタンブ一臺、ブレーナー式動搖銅盤、ウキルフレー汰盤、セツトラ及「ロールミル」各一臺ナリトス

登川炭礦 石炭鑛 位 置 結 石 狩 國 夕 張 郡 登 川 村

本鑛山ハ四十二年下半季ノ始業ニ係リ主トシテ殘柱法ニ依リ採炭ス運搬ハ十二封度軌道ヲ布設シ半噸積炭車ニ積込ミ馬匹ニ依リ之ヲ選炭場ヘ送致ス

谷夕張炭礦 石炭鑛 位 置 石 狩 國 夕 張 郡 登 川 村

本鑛山ハ上總掘及米國式ロープボリリングヲ以テ目下試錐中ナリ原動機トシテハ「マリンボイラ」一臺及單箒式汽機一臺ヲ設備セリ

城戸炭礦 石炭鑛 位 置 福 島 縣 雙 葉 郡 龍 田 村

本鑛山ハ四十二年ニ入り專ラ新坑ノ開鑿並ニ坑外設備ノ工事ニ着手シ先ツ山元ヨリ龍田驛ニ至ル三哩餘ノ輕便鐵道ヲ布設シ又三月ニ至リ新ニ「ランカシャ」汽罐一基及附屬煙突一基ヲ設置ス尙ホ第一斜坑ニ捲揚機五十馬力一基、選炭場、積込場及長サ四十二間ノ棧橋ヲ設置セリ目下第一斜坑ハ掘進五十間、第二斜坑ハ六十間餘ニ達シ各採炭ニ着手セリ

二葉炭礦 石炭鑛 位 置 福 島 縣 石 城 郡 川 部 村

本鑛山ハ曾テ稼行セシコトアリシモ運搬ノ便ナカリシ爲メ一時休業シ前年勿來軌道會社ニ於テ鑛區ノ附近ニ軌道ヲ布設シタルニ依リ四十二年二月再ヒ事業ニ着手シ第一、第二ノ坑道ヲ開鑿シ長壁法ニ依リ採炭セリ。

丸山炭礦 石炭鑛 位 置 福 島 縣 石 城 郡 川 部 村

本鑛山ハ炭質不良ト運搬不便トニ依リ一時休山セシコトアリシモ四十二年ニ入り軌道七百餘間

ヲ布設シ且坑道ノ開鑿ニ着手シ目下掘進中ナリ

明美炭礦 石炭鑛 位 鑛業權者代表者 置 山形縣最上郡舟形村  
沼澤清吉

本鑛山ハ四十一年七月採掘許可ヲ得四十二年ニ入り事業ニ着手シ「アケビ」澤ニ坑口ヲ設ケ目下掘進中ナリ

後田鑛山 石油鑛 位 鑛業權者 置 秋田縣南秋田郡旭川村  
日本石油株式會社

本鑛山ハ四十二年二月以來第六號及第七號井ノ鑿井ニ着手シ第六號井ハ六月ヨリ第七號井ハ八月ヨリ出油ヲ見ルニ至レリ而シテ第六號井ハ其後更ニ深掘ヲ行ヒ目下深サ八十九間ニ及ヒタルモ尙ホ掘進中ナリ

旭川鑛山 石油鑛 位 鑛業權者 置 秋田縣南秋田郡旭川村  
日本石油株式會社

本鑛山ニ於テハ第五號井ノ鑿井ニ着手シ掘進二百三十一間ニ達シ出油ヲ見タリシモ其後更ニ掘下工事ヲ行ヒ十二月下旬二百六十間ニシテ噴油セリ

柄登第五〇號 石油鑛 位 鑛業權者 置 新潟縣中蒲原郡新津町  
中野忠太郎

本鑛區ハ四十二年下半季末ニ於テ鑿井ヲ開始シ現今掘進中ノ油井五坑アリ

柄登第五一一號 石油鑛 位 鑛業權者代表者 置 新潟縣中蒲原郡新津町  
風間退三

本鑛區ハ四十二年上半季末ヨリ其開發ニ着手セリ油層ハ地表以下八十間乃至百三四十間ノ間ニ伏在シ油井ハ深約百十間内外ニ於テ出油スルモノ多シ鑿井法ハ主トシテ上總掘ニシテ「スター」式ニ依ルモノハ單ニ一坑アルノミナリ

七松  
探登第一五二號 石油鑛 位 置 新瀉縣中蒲原郡新津町  
寶田石油株式會社

本鑛區ハ四十二年中ノ開發ニ係ル新油田ニシテ現今掘進中ノモノ機械掘二十二坑上總掘七坑ニシテ又採油中ノモノ機械掘二十七坑上總掘九坑アリ油質ハ「ボーメ」二十度内外ニシテ出油ノ狀況ハ機械井ハ最初日產三十九石ノモノアリシカ漸次減少シ又上總掘ノモノハ日產五六升ヨリ二石ニ達ス

赤井川鑛山 硫黃鑛 位 置 渡島國龜田郡榎法華村  
鑛業權者 押 松

本鑛山ノ採鑛方法ハ露天作業トス運搬ハ採鑛場ヨリ製鍊場迄九封度軌條ヲ布設シ半噸入鑛車ニ積込ミ人力ニ依リ直ニ製鍊場ヘ送致ス製鍊ノ方法ハ燒取式ニシテ釜十個ニ付一個ノ焚口ヲ具フルモノヲ一基トシ都合三個ノ燒取釜ヲ設備セリ採掘セル鑛石ニ對シテハ別ニ選鑛ヲ行ハス

惠山鑛山 硫黃鑛 位 置 渡島國龜田郡榎法華村  
鑛業權者 押 松

本鑛山ハ四十二年上半季ヨリ事業ニ着手ス其操業法ハ火山ヨリ噴出スル瓦斯ヲ噴火口ニ接續スル幅二尺深四尺長六十尺ノ石造溝ニ導キ瓦斯中ニ含有スル硫黃ヲ凝結液化セシメ之ヲ此暗渠ノ端ニ石及粘土ヲ以テ造リタル方五尺深二尺ノ硫黃溜ニ入レ固結セシムルニアリ

高松鑛山 硫黃鑛 位 置 秋田縣雄勝郡須川村  
鑛業權者 小 川 倉 松

本鑛山ハ一晝夜百二十貫ノ硫黃ヲ得ル目的ヲ以テ製鍊場ヲ建設シ燒取釜二基(五枚一基)ヲ裝置セリ

板谷鑛山 硫黃鑛 位 置 山形縣南置賜郡山上村外一郡一村  
鑛業權者 大河原 文 藏

本鑛山ハ四十二年十月許可其後探鑛及採鑛ニ着手シ硫黃千二百貫ヲ得ル目的ヲ以テ製鍊場ヲ新設シ鑛鐵製徑三尺深一尺五寸ノ釜三十六枚及二分鐵製沈澱釜三個ヲ裝置セリ

多木鑛山 燐鑛 鑛業權者 置 石川縣羽咋郡東土田村 多木衆次郎

本鑛山ニハ塊狀及層狀ヲ爲セル二箇ノ大露頭アリ目下塊狀露頭ヨリ探鑛採鑛ノ目的ヲ以テ坑道ヲ開鑿シ既ニ五十餘尺ヲ掘進セリ而シテ層ノ厚サ約四十餘尺ニシテ品位百分中一五〇乃至一八〇ナリ

## 二 事業ヲ擴張シタル鑛山

小坂鑛山 金銀銅鉛 鑛業權者 置 秋田縣鹿角郡小坂村 亞鉛若鉛鑛 合名會社藤田組

本鑛山ニ於テハ四十二年一月電鍊場ノ復舊工事ヲ完成シ尙ホ新ニ圍鑛場及「ボットロースチング」三個ヲ増設セリ

鴉 鑛山 金銀銅 鑛業權者 置 秋田縣鹿角郡七瀨村 銅鑛 合名會社藤田組

本鑛山ニ於テハ一晝夜粗鑛三萬貫ヲ處理スル目的ヲ以テ選鑛場ヲ新設シ從來使用セル舊式ノ選鑛場ヲ廢止セリ而シテ新設選鑛場ニ裝置セル機械ハ四分目水平動篩二臺洗淨圓篩二臺「ハルツジッガー」「九臺」「ハンチントンミル」「二臺」「ブレキ」「碎鑛器一臺」「ロールジョー」「碎鑛器一臺及「ウエルフレ」淘汰盤等ナリ

椿 鑛山 銀鑛 鑛業權者 置 秋田縣山本郡八森村 武田恭作



本鑛山ニ於テハ事業ノ改良發達ヲ計ランカ爲メ探鑛ニ關シ運搬設備トシテ軌條ノ布設、堅坑開鑿、電氣捲揚機ノ据付ケ又選鑛ニ關シテハ「ハルツジッガー」「八臺」「ハンコックジッカー」「二臺」「トロンメル」「四臺」「クラッシャ」「一臺」「クロームロール」「一臺」等ヲ増設シ尙ホ製鍊ニ關シテハ長三十尺幅三尺三寸ノ鎔鑛爐一座ヲ増設セリ

松岡鑛山 金銀銅鉛 位 置 秋田縣雄勝郡山田村、西馬音村  
亞鉛 鑛業權者 合名會社藤田組

本鑛山ニ於テハ大切坑以下五十尺ノ所ニ一坑道ヲ開鑿シ各鉋ノ下底ヲ探鑛シ又坑内ニ鑛石ノ運搬及排水ニ供スル爲メ直立堅坑ヲ新鑿シ之ニ三十馬力ノ電氣捲揚機ヲ設置セリ其他坑内ニ電氣唧筒一臺又抗外ニ瓦斯「エンジン」及三十「キロワット」發電機各二臺ヲ増設セリ

阿仁鑛山 金銀銅 位 置 秋田縣北秋田郡阿仁合町  
鉛 鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ニ於テハ小澤堅坑三番坑道ニ排水用豫備トシテ百馬力ノ三聯式タービン唧筒ヲ据付ケ又製鍊場ニ新ニ「ポットロースチンク」四個ヲ増設シ十一月下旬ヨリ其使用ヲ開始セリ其他六番形「ルーツ」式送風機及其原動力トシテ多管式汽罐一臺ヲ設置ス本山ハ坑内深ク掘進セラル、ニ從ヒ排水用動力ヲ増加スルノ必要ヲ生シタルカ爲メ阿仁合川ノ上流比立内ニ發電所ノ新設工事ニ着手シ既ニ變壓所二箇所ヲ落成セリ右發電所ハ一千馬力ノ水力電氣ヲ得ルノ設計ニシテ四十三年中ニ全部完成ノ豫定ナリ

不老倉鑛山 銅鑛 位 置 秋田縣鹿角郡大湯村外二村  
鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ニ於テハ良好ナル四十年鉋ヲ發見シ鑛量著シク増加セルニ依リ從來ノ選鑛場ニテハ全鑛

石ヲ處理スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ十八呎「ハンコックジッガー」一臺ヲ増設シ又製鍊ニ關シテハ「ストール」十個五噸吹「ボットロースチング」爐二個ヲ新設シ同時ニ六番形送風機及之ニ要スル原動力トシテ圓管多管式汽罐「アミングトン、エンヂン」各一臺ヲ選鑛場ヨリ轉設シタリ尙ホ右ノ外長十二尺幅三尺ノ鉛鑛爐一座改築ノ計畫アリ

堤澤鑛山 金銀銅鉛 硫磺 鑛業權者 秋田縣北秋田郡花岡村 合資會社石田鑛業所

本鑛山ニ於テハ在來ノ一切坑ノ東北方ニ斜坑ヲ開鑿シ其掘進三十六尺ニシテ着鑛シタルヲ以テ七月ヨリ探鑛ニ移リ又該斜坑ヨリ東北方ニ於テ大切開鑿ノ目的ヲ以テ十月ヨリ開坑シ掘進四十五尺ニシテ着鑛セシモ鑛石ノ品位良好ナラス

荒川鑛山 銅鑛 鑛業權者 秋田縣仙北郡荒川村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ初石坑ヨリ產出スル鑛石ハ從來手選ニ付シタリシカ近時鑛量増加セルヲ以テ一日粗鑛二十噸ヲ處理スル目的ヲ以テ四月初石坑場ニ選鑛場ヲ建設シ圓篩一個粗粒跳汰機及床付跳汰機各一臺並ニ三馬力電動機二基ヲ裝置ス

日三市鑛山 銅鑛 鑛業權者 秋田縣仙北郡雲澤村外一村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ選鑛場ニ淘汰器二臺製鍊場ニ眞吹爐一座ヲ増設セリ

太良鑛山 銀銅鉛 鑛業權者 秋田縣山本郡藤琴村 古河鑛業會社

本鑛山ニ於テハ從來七枚澤ニ於テ探鑛セシカ四十二年ニ至リ文珠坊澤ニ移リ之カ設備トシテ選鑛場二棟ヲ増設シ「クラッシュヤー」「二臺」「ハンドジッガー」「ロール」及「キャンバスター」各一個ヲ裝置

セリ

田子内鑛山 金銀銅 鑛位 置 秋田縣雄勝郡東成瀬村  
合名會社 藤田組

本鑛山ニ於テハ四十二年中瓦斯發動機、瓦斯エンジン(實馬力二十)及坑内排水用電氣唧筒各一臺ヲ増設セリ

杉澤鑛山 金銀 鑛位 置 秋田縣仙北郡土川村  
小西傳助

本鑛山ニ於テハ從來金鑛ノミヲ採鑛製鍊セシカ四十二年六月ヨリ赤澤ニ於ケル舊坑ヲ取明ケ探鑛ノ結果稍々良好ナル金銅鑛ヲ發見シタルヲ以テ十月ヨリ之カ採掘ニ從事シ目下一箇月三萬貫ノ鑛石ヲ得ルニ至レリ

鷲之巢鑛山 金銀 鑛位 置 岩手縣和賀郡湯田村  
爲田文太郎

本鑛山ニ於テハ品位優等ナル金銀鑛及搗鑛製鍊ヨリ生スル合金銀銅ノ汰鑛ヲ製鍊スル目的ヲ以テ羽口面ニテ長四尺幅七尺ノ鎔鑛爐一座、眞吹爐三座及十五馬力四番形「ルーツ」式送風機三十馬力「ベルトン」水車各一臺ヲ増設セリ

釜石鑛山 銅鐵鑛 鑛位 置 岩手縣上閉伊郡栗橋村  
田中長兵衛

本鑛山ニ於ケル製鐵事業ハ前年ト異ラサルモ銅鑛ノ製鍊ニ關シテハ其設備ヲ擴張シ一晝夜二萬貫乃至二萬五千貫ノ銅鑛ヲ處理スル目的ヲ以テ鎔鑛爐二座、眞吹爐九座、四番形及六番形送風機各一臺、汽罐二臺、汽機一臺ヲ増設セリ

仙人鑛山 銅鐵鑛 鑛位 置 岩手縣和賀郡湯田村外二村  
株式會社 仙人製鐵所

本鑛山ニ於テハ鑛石中ニ漸次含銅量ヲ増加シ來リタルヲ以テ一箇月二萬五千貫ノ銅鑛ヲ處理スル目的ヲ以テ選鑛場ヲ新設シ又鎔鑛ニ關シテハ鎔鑛爐一座、真吹爐二座及燒鑛窯六個ヲ増設シタリ

卯根倉鑛山

銅鑛

位 置  
鑛業權者

岩手縣和賀郡湯田村  
佐藤 二郎

本鑛山ニ於テハ鑛量漸次増加セルニ依リ新ニ燒鑛窯八個、山下爐一座ヲ増設セリ

夏坂鑛山

銅鑛

位 置  
鑛業權者

青森縣三月郡上郷村  
小越 幸助

本鑛山ニ於テハ高三尺內徑四尺ノ鎔鑛爐一座及「ルーツ」式三番形送風機一臺ヲ増設セリ

加納鑛山

金銀銅鉛  
鑛業權者

位 置  
鑛業權者

福島縣耶麻郡加納村  
加納鑛山株式會社

本鑛山ニ於ケル亞鉛鑛ハ磁選法ニ依リ得タルモノヲ再ヒ水選式「ジツガー」ニテ選鑛シ其品位ヲ上進セシメシカ四十「メツシユ」以下ノモノニ至ツテハ重土ノ粉末多量ニ混入シ比重ノ關係上之ヲ淘汰スルコト困難ナルヲ以テ新ニ油選式選鑛法ヲ採用シ一晝夜四千貫乃至六千貫ヲ處理スル目的ヲ以テ左ノ工作物ヲ設置シ其使用ヲ開始セリ

第一工場

十五馬力直立汽罐 一臺

攪拌器 一臺

水壓分離器 一臺

貯鑛場 一箇所

第二工場

沈澱箱(受箱) 七個

煮沸槽 四個

給鑛箱 二個

洗鑛器 二個

鍊鍊器

一個

選鍊器

二個

選別器

十個

精鍊箱

十四個

排石箱

二個

遠心唧筒

二臺

右ノ外、ボットロースチンク八個ヲ新設スルノ計畫ニテ既ニ其一個ヲ設置セリ尙ホ磁選鍊場ニハ磁選機五臺、三相式交流誘導電動機一基、其他電動機二基、捲揚機一臺ヲ新設シ何レモ磁選鍊用ニ供セリ

半田鍊山 金銀鍊

位 置 福島縣伊達郡半田村外一村

五代 龍作

本鍊山ニ於テハ比較的合金量ノ多キ鑽石ヲ發見シ且從來貯積シタル鑽石ヲ製鍊スルノ目的ヲ以テ青化製鍊場二棟ヲ増設シ之ニ溶解槽十八個、液桶六個、亞鉛箱六個、唧筒二臺ヲ裝置セリ

大藏鍊山 金銅鍊

位 置 山形縣下最上郡大藏村

横山

本鍊山ハ銅鍊ノ製鍊ヲ開始シ一箇月約五萬貫ノ精鍊ヲ處理スルノ目的ヲ以テ新ニ水篋式鎔鍊爐ヲ設置シ其他焙燒爐二座、真吹爐三座、反射爐一座ヲ増設セリ

大澤金山 金鍊

位 置 新潟縣岩船郡黒川俣村

廣田 敏雄

本鍊山ハ明治三十三年中ノ發見ニ係リ爾來一二鍊業人ノ手ニ依リ採鍊製鍊ヲ企圖セシモ皆其目的ヲ達セス四十一年六月現鍊業人ノ買收スル所トナレリ本山ノ地質ハ重ニ石英粗面岩ヨリ成リ凝灰岩及石英斑岩亦其一部ヲ爲セリ鍊脈ハ此等岩石ヲ貫通スル數條ノ網狀石英脈ニシテ第一、第二、第三番坑及松盛坑ニ存スルモノ其最モ優等ナルモノニ屬ス而シテ右坑内ニ在テハ上盤ニ六七

寸下盤ニ二三寸ノ石英脈ヲ有シ其中間ニ六七寸ノ粘土脈ヲ挾存セリ

四十二年一月ヨリ製鍊場ノ改築ニ着手シ四十二年二月全部竣工ノ豫定ナリ其設備ハ十馬力ノ上懸水車ヲ原動トシ「ハンチントンミル」一臺「ウキルフレー」汰盤一臺容量二十噸ノ鐵製青化滲出槽二個トス

### 九倉鑛山

金銀銅鉛 位 置 新潟縣南蒲原郡森町吉  
亞鉛鑛 鑛業權者 波邊 藤吉

本鑛山ハ明治三十七年六月探掘許可ヲ得爾來探鑛ニ從事シツ、アリシカ四十二年一月現鑛業人ノ有ニ歸シ同十月探鑛ノ計畫ヲ定メ事務所飯場等ノ新築工事ヲ爲シタリ鑛區附近ノ地盤ハ石英粗面岩ヨリ構成セラレ同岩質ノ凝灰岩ヲ以テ被覆ス鑛床ハ此等岩石ノ裂罅ヲ充填セルモノ其數五條ニシテ屢々網狀ヲ爲シテ互ニ混亂シ又ハ時々小ナル鑛巢ヲ爲スコトアリ前記各鑛脈ノ幅ハ普通二三寸ヨリ七八寸ニ達シ閃亞鉛鑛ニ富ミ又少量ノ方鉛鑛及硫化銅鑛ヲ混在シ所謂黑物鑛ニ類セルモノナリ現在ニ於テハ專ラ亞鉛鑛ヲ探掘シ鑛石ノ儘之ヲ販賣シ居レリ

### 柴倉鑛山

銅亞鉛鑛 位 置 新潟縣中蒲原郡川内村外一村  
鑛業權者 寶田石油株式會社

本鑛山ハ四十二年四月以來現鑛業人ノ經營スル所トナリ專ラ探鑛ニ從事シツ、アリシカ鑛況良好ナラス爲メニ一時休山ノ議アリシモ七月ニ至リ新ニ鑛床ノ存在ヲ發見シ幸ニ良鑛ヲ產出スルニ至リタルヲ以テ目下該鑛床ノ開發ニ從事セリ

### 佐渡鑛山

金銀銅鑛 位 置 新潟縣佐渡郡相川町  
鑛業權者 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ既ニ擴張工事ヲ了セル搗鑛場及青化工場ノ操業ヲ四十二年一月ヨリ開始セリ而

シテ此搗鑛場ニハ千「ポンド」ノ杵五本ヲ有スル搗鑛機十臺及之ニ附屬スル給鑛機、横震盤、淘汰機各十臺並ニ之ヲ運轉スヘキ二百五十馬力ノ「モートル」ヲ据付ケタリ又青化工場ニハ右搗鑛場ノ擴張ニ伴ヒ十噸入沈定池九個、二百十噸入溶解槽一個、亞鉛箱二個、離心唧筒三個ヲ増設シ其原動機トシテ從來ノ蒸氣機關三臺、百二十三馬力ヲ廢シ之ニ代フルニ五百「キロワット」ノ「バーソン」式「ターボ」、ゼネレーターヲ以テス而シテ同發電機ニハ「アーレン」表面凝氣機及「エドワード」唧筒各一臺附屬セリ又之ニ應センカ爲メ「バブコック」ウキルコック「汽罐」二臺及之ニ附屬スル「スエーバー」、「ピーター」、「エコノマイザー」各一臺及給水唧筒二臺ヲ増設シタリ其他搗鑛場、青化工場、泥鑛製鍊場、鐵索場、工場、鎔鑛場、精米場ニ大小七臺ノ「インダクシヨン」、「モートル」合計三百九十馬力ヲ新設シ又材料粉抹用「モルターミル」ノ爲メニ六馬力ノ「ベルトン」水車ヲ設置シタリ

坑内作業ニ關シテハ大立坑、青盤脈東方ニ在テハ曾テ大斷層ニ會シ十數年以來之カ探究ニ苦心セシカ四十二年三月ヨリ大規模ノ探鑛法ヲ實行シ該斷層ヲ横斷シテ東進スルコト約八十尺ニシテ東四十度、西南四十五度ノ鏡肌ニ出會シ更ニ之ヨリ數條ノ石英細脈ニ會シタリシカ此等細脈ハ漸次相合シ八月ニ至リ確然タル一鑛脈トナリテ上鑛ヲ散介シ日ヲ追フテ其品位ヲ高メ九月ニ及ヒ稀ナル上鑛ヲ產出スルニ至レリ其他本山ニ於テハ近來坑内ニ「アセチリン」燈ヲ使用シタルカ爲メ在來ノ種油「カンテラ」ニ比シ經費ノ約三割強ヲ減シ又八分八角鋼鑽及「ハンマー」印「ダイナマイト」、「三號雷管」ニ代フルニ六分八角鋼鑽及陸軍火藥製造所製櫻印「ダイナマイト」、「六號雷管」ヲ使用シタルニ爆發力強大ニシテ探鑛量ニ於テ二割ノ増加ヲ見ルニ至レリ

神岡鑛山

金銀銅鐵亞鉛 鑛業權者 三岐阜縣吉城郡船津町外一村  
 鉛 鋅 鉛 鑛 鑛業權者 三岐阜縣吉城郡船津町外一村

本鑛山ニ於テハ從來鎔鑛ノ媒劑トシテ鐵屑ノミヲ使用セシモ其供給意ノ如クナラサルヲ以テ之ニ代用センカ爲メ大字土區内ニ鐵鑛探掘ノ目的ヲ以テ坑道ヲ開鑿シ第一號坑ハ既ニ九十一尺ヲ掘進セリ

運搬ニ關スル設備ニ付テハ兩三年前ヨリ其改良及擴張ニ從事セシカ今ヤ豫定ノ工事畧ホ竣成ヲ告ケタリト雖モ鑛量日ニ増加スルニ至レルヲ以テ更ニ之ニ伴フ運搬設備ノ改良及擴張ヲ計畫シ既ニ工事中ニ屬スルモノ尠カラス其狀況次ノ如シ

一、土、上平間延長一萬六千五十尺ニ十二封度ノ軌條ヲ布設セリ四十一年四月起工シ四十二年五月全部竣成ス

二、漆山、土間ニ架設スヘキ延長七千九百八十尺ノ架空鐵索ハ單線式ニシテ四十一年五月起工シ四十二年三月竣成ノ豫定ナリ

三、漆山、鹿間間ニ架設シタル單線式架空鐵索ヲ玉村式鐵索ニ改良センカ爲メ四十二年五月其工事は着手シ四十二年三月竣成スヘキ豫定ナリ

四、元池自動架空鐵索ハ元池坑ノ鑛石ヲ池ノ山三號坑ヘ運搬スルニ用フルモノニシテ其斜距離九百三十尺、高低ノ差五百三十尺ナリ四十二年八月之カ工事ニ着手シ同十二月全部竣成セリ

五、蛇腹單線式架空鐵索ハ蛇腹大切坑地並ヨリ蛇腹鐵索場迄ノ運搬ニ供スルモノニシテ四十二年十月起工シ四十二年六月竣成ノ豫定ナリ



六、持ヶ壁、天戸平間ノ軌道ハ持ヶ壁坑及鉛谷坑ノ鑛石ヲ天戸平鐵索場ニ運搬スルニ用フルモノニシテ池ノ上、天戸平軌道ト同一地並ニ於テ其連絡ヲ保チ延長五千百七十九尺十二封度軌條トス四十年六月起工シ四十二年六月竣成ス

七、鹿間斜面車道ハ鹿間選鑛場ノ鑛滓及製鍊鑛滓ヲ運搬スルノ用ニ供ス其斜距離四百八十尺、高低差百四尺ニシテ四十二年五月起工同九月竣成ス

選鑛及製鍊ニ關スル設備ニ付テハ兩三年以來其改良及擴張ニ從事セシカ四十二年中新ニ増設シタル機械及裝置概ネ次ノ如シ

ベクトジッガー

四區劃ノモノ

三臺

バッドル

徑十五尺

四臺

ロールジョー、ロック、ブレーカー

十六吋

二臺

ヒューガル、ポンプ

泥鑛及選鑛用水押上用

六臺

ベルトン水車

五臺

低壓直流式分電捲發電機

百ゲオルト二、五キロワット

一臺

ルーツ式送風機

四臺

乾鑛爐

二座

磁選機(マグネチック、セパレーター)

一組

浮流選爐裝置(フローテーション、プロセス)

徑三呎六吋

二 臺

鎔鑛爐

流鉛爐

一 座

精鉛爐

一 座

鉛庫鑛山

鉛金 鑛銀 鑛業權者 山梨縣東山梨郡玉宮村外一村  
淺尾 慶次

本鑛山ノ主要鑛物ハ砒硫鐵鑛ニシテ之カ風化シタル酸化鑛ノ外ニ方鉛鑛ヲ產ス此等ノ鑛石ハ何レモ多少ノ金銀ヲ含有スルニ依リ硫化鑛ハ之ヲ焙燒シテ砒素ヲ除去シ酸化鑛ト共ニ鑛石ノ儘販賣セシカ砒素ノ含有甚タ多キヲ以テ幾多試驗ノ結果酸化鑛ニハ青化收金法ヲ砒硫鐵鑛ニハ鹽化收金法ヲ應用スルコト、ナリ酸化鑛六十貫、砒硫鐵鑛ノ焙燒シタルモノ一萬五千貫ヲ處理スヘキ豫定ヲ以テ製鍊場ヲ新設シ四十二年末ニ於テ殆ント其工事ヲ竣成セリ又前記方鉛鑛ハ砒硫鐵鑛焙燒ノ際副產物トシテ硫黃及亞砒酸ヲ製出シツ、アリ

足尾銅山

銅金 鑛銀 鑛業權者 栃木縣上都賀郡足尾町  
古河 鑛業會社

本鑛山ニ於テハ日光電氣分銅所ノ擴張工事ノ竣工ニ依リ足尾以外諸鑛山產出ノ鍊銅ヲ處理スルニ至レルヲ以テ毎月ノ分銅量ヲ七十五萬斤ニ増加セリ又坑内ニ付テハ四十二年上半季中横間歩第三豎坑ニ「エッシャーウキス」式「タービンポンプ」三臺ヲ新設シタルニ其効果ノ著シキヲ認メ更ニ光盛第一豎坑ニ二臺、同第二豎坑ニ三臺ヲ増設シタリ又四十年下半季中ニ着手シタル小瀧天狗南向豎入坑ハ中間ニ於テ八條ノ鑛脈ヲ貫通セシカ就中四十二年鉞ト命名シタル第四條目ノモノハ頗ル有望ニシテ將來光盛横間歩ノ兩鉞ト共ニ本鑛山ノ主要鑛脈タルヘキ見込ナリ

製鍊ニ付テハ四十二年十月新鑄鑪一座ノ据付ニ着手シタル外多量ノ粉鑛ヲ處理セシカ爲メ十一月ニ至リ新式圓鑛機一臺ヲ設置シ且前年中ヨリ試驗シツ、アル「ボットロースチング」ヲ擴張實施スルノ準備ヲ爲セリ其他通洞簀子橋及小瀧坑内ニ使用スル電力ヲ増加セシメンカ爲メ四十一年五月以來細尾發電所ニ二千五百馬力ノ發電機二臺ヲ新設中ナリシカ四十二年末ニ至リ其大部分ヲ竣成シ又同四月ヨリ著手シタル通洞變壓所ハ十一月全部竣工セリ

#### 日光鐵山

金銀 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡大宮村外二村  
安藤 太 郎

本鑛山ハ四十一年八月初メテ試掘ニ着手シ露頭部ニ於ケル鑛床ニ於テ稀有ノ富鑛ヲ產出セシカ四十二年八月現鑛業人ノ所有スル所トナレリ鑛床ハ二紀層中ノ石英粗面岩ヲ貫通セル正規鑛脈ニシテ互ニ平行シ而シテ一號鉋ハ其幅平均一尺二號鉋ハ七八寸乃至一尺二三寸ニシテ時々十尺以上ニ膨大シ富良ナル銅鑛ヲ含有ス現今上下數箇所ノ鉋押坑道ヲ開鑿シ探掘ニ從事セリ又探掘シタル鑛石ハ山元ニ於テ簡單ナル選鑛ヲ施シ四十二年中ノ新設ニ係ル延長一哩半ノ輕便鐵道ニ依リ今市矢板間ニ於ケル假定縣道筋ニ搬出シ鑛石ノ儘之ヲ販賣ス

#### 日立鑛山

銅鑛 鑛業權者 茨城縣多賀郡日立村  
久原 房 之 助

本鑛山ノ四十二年中ニ於ケル探鑛及開坑ノ狀況ハ本坑部ニ在テハ第一豎坑ヲ約六百尺マテ掘鑿シ神峯坑ト本坑ノ雙方ニ五百尺ノ坑道ヲ開鑿シ又本坑ノ下方ニハ七百尺ノ深サマテ錐探ヲ試ミ尙ホ此五百尺坑道準ニ於テ鑛層ノ兩磐中ニ延長一千尺ノ豫定ヲ以テ横切ヲ行ヒ現時三百尺掘進セリ本坑二百尺坑道ハ西部ニ向テ掘進中ニシテ本坑零尺ナル現今探鑛部ノ西方直下ニ達スル目

的ナリ而シテ此方面ニ在テハ更ニ鑛層ノ兩磐中ニ横切ヲ開鑿セリ神峯坑ニテハ三百五十尺坑道ハ第二堅坑ニ接續セラレ又前記五百尺坑道ハ第一堅坑ヨリ神峯鑛層ニ向ツテ既ニ百五十尺掘進セリ其他中盛坑ニ於テハ二百尺坑道並ニ探鑛準備ニ着手セリ坑内ノ排水設備ハ本坑五百尺坑道ニ二十馬力ノ「シンキング」唧筒ト二十馬力ノ定置豫備唧筒ヲ据付ケ又五百尺坑道ト堅坑ノ低部ニハ噴水唧筒ヲ該坑道ト下底トノ間ニ五馬力定置唧筒ヲ据付ケ且ツ上方ノ二百尺坑道準ニハ三十馬力唧筒二臺内一臺ハ豫備ヲ据付ケ堅坑底ヨリ頂上マテノ排水ニ供ス又四十二年十月ヨリ「ストーピング」ポンプ「段掘唧筒」三臺ヲ使用シタルニ其效果良好ナルヲ以テ四十三年度ニ於テ更ニ其數ヲ増加セントスルノ計畫アリ又五臺ノ「ボアリ」ングマシーン「鑿孔機」ハ四十二年中絶ヘス坑内外ニ使用セラレ探鑛上著大ノ成績ヲ收ムルコトヲ得タリ

製鍊ニ關シテハ四十一年以來建設中ナリシ大雄院ニ於ケル新製鍊所四十二年中完成シタルヲ以テ從來元山ニ於テ使用シタル四座ノ鑛鑪ハ自然之カ使用ヲ廢止セリ而シテ新製鍊所ニ對シ四十二年設置シタル主要建物左ノ如シ

鍊鑛爐	長四十尺 幅四尺	二座
鑛結爐	徑八尺 深四尺	十五座
鍊鈹爐	長十六尺 幅四尺五寸	一座
鍊銅爐	長九尺 幅三尺五寸	四軸
鍊銅爐架	長七尺五寸 徑六尺五寸	三座

二十噸行進起重機

十五馬力

一臺

荒銅鑄型盤

一臺

「ルーツ」十番形送風機

二臺

「バーソン、ターボ」式空氣壓搾機

二百五十馬力  
電動機附屬

一臺

配電所

全電力千三百「キロワット」ニ相當スル數  
個ノ電動機及之ニ必要ナル諸裝置一式

四十二年中ノ起工ニ係ル多賀郡北中鄉村石岡ニ於ケル三千「キロワット」發電所ハ既ニ發電機一臺  
ノ据付ヲ了リ八十六尺ノ假設水頭ヲ以テ四百「キロワット」ノ電力ヲ供給スルニ至レルヲ以テ之ニ  
在來ノ久慈郡中里村里川發電所ノ供給スル電力九百「キロワット」トヲ併セ現今千三百「キロワット」  
ノ電力ヲ得ルニ至レリ

西澤金山

金銀銅鉛錫  
蒼鉛重石鑛

位 置  
鑛業權者

栃木縣鹽谷郡栗山村  
西澤金山探鑛株式會社

本鑛山ノ鑛床ハ石英粗面岩中ニ胚胎セル無數ノ鑛脈ニシテ從來開運坑、大黒坑、旭坑及山神坑ニ依  
リ探掘セシカ就中旭坑ハ其延長五千尺ニ達シ本山ノ主要鑛脈ハ悉ク此坑内ニ存在セリ即チ本澤  
二號鉋ハ現今百三十七間、同三號鉋ハ百九十五間、同十號鉋ハ九十間ニ達セリ

四十二年中ニ於ケル探鑛及開坑事業ノ主ナルモノハ旭坑ノ川上掘進ト山神坑ノ掘進トス山神坑  
ハ前記諸坑道ノ下部ニ於ケル豎入坑ニシテ之ニ依テ諸坑道ヲ連絡シ又將來探掘ノ鑛石ヲ該坑口  
ノ對岸ナル選鑛場ニ輸送スルノ便ヲ計ルモノトス四十二年中主要坑道ノ掘進工程及十二月末ニ  
於ケル總延長左ノ如シ

坑名 四十二年ノ掘進 總延長

山神坑 四二二<sub>尺</sub> 一、五七六<sub>尺</sub>

大黒坑 一 八五九

開運坑 一〇七 一五三

旭坑 一、四四六 四、九八一

本山ハ四十一年十月旭坑奥三號鉤ニ於ケル大直リ以來鑛況良好ニシテ上鑛ハ直ニ之ヲ販賣シ下鑛ハ四十一年ノ起工ニ係リ四十二年ニ至リ竣成シタル選鑛場ニ送致シ硫化汰物ト砂鑛トニ分別シ汰物ハ其儘之ヲ販賣シ砂鑛ハ四十二年ヨリ青化工場ニ於テ收金ヲ行ヒタルニ其結果良好ナルニ依リ之カ擴張計畫ヲ定メ既ニ其工事ニ着手セリ又坑内ニ於ケル鑿岩、選鑛場及青化場ノ原動ニ供センカ爲メ中禪寺湖畔菖ケ濱ニ百二十馬力ノ發電所ヲ新設スルノ計畫ヲ立テ四十二年夏其工ヲ起シ現今水路ノ工事中ニシテ四十三年七八月頃全部竣工ノ豫定ナリ

大森鑛山 金銀銅 鑛業權者 島根縣選鑛部大森町 合名會社藤田組

本鑛山ニ於テハ永久坑三十五番ノ鑛況益々可良ニシテ幅二尺内外ノモノ二條乃至四條トナリ其延長二百尺ニ及ヘリ現今排水準以下掘進スルコト五百尺ニ達ス而シテ鑛石ノ含銅平均品位ハ一四・〇%内外ニシテ金銀ノ含有亦豊富ナリ目下二十五箇所ノ採鑛場ヲ有ス  
製鍊ノ設備ハ從來粘土製鎔鑛爐ヲ使用セシモ全坑内ノ鑛況良好ナルヲ以テ之ヲ廢シ水胴式鎔鑛爐ニ改築シ七月以降生鑛吹ヲ開始セリ又生鍍ハ更ニ之ヲ焙燒シタル後鎔鍍爐ニ於テ鎔解シ之ヲ

眞吹ニ付ス

寶満山鑛山 銅鑛

位 置  
鑛業權者

堀 島根縣八東郡出雲郷村  
藤 十 郎

本鑛山ニ於テハ西二番方面、本坑道水準以下ノ探鑛及探鑛ノ目的ヲ以テ大堅坑ノ西方五百尺ノ位置ニ深サ約百尺ノ二堅坑ヲ掘下ケ二番坑道ニ連接セシメ、四十二年九月中同堅坑ニ十馬力複胴式電氣捲揚機ヲ据付ケ又其下底ニ二馬力直立三聯式唧筒一臺ヲ据付ケタリ、尙ホ運搬排水及通風ヲ完全ナラシムル爲メ現在ノ大堅坑ヲ更ニ掘下ケ下底部ト連絡セシムルノ計畫ナリ、四十一年中ノ増設計畫ニ係ル「リンケンバツ」式圓汰盤五臺、「ベチン」式轉輥機一臺、「ウキルフレー」盤一臺、「ビンダー」式淘汰盤一臺ハ四十二年八月以降全部其据付ヲ了セリ

生野鑛山

金 銀 銅 鉛  
安 賀 母 尼 鑛

位 置  
鑛業權者

兵 庫 縣 朝 來 郡 生 野 町  
三 菱 合 資 會 社

本鑛山ニ於テハ鑛毒除害及沈澱銅採取ノ目的ヲ以テ沈澱槽ヲ設置スルノ計畫ナリシカ太盛鑛區銅鑛淘汰所ノ下方ニ鑊煉瓦二重積ヲ以テ構築シタル沈澱槽二個（長百三十四尺八寸、幅十五尺五寸、深七尺三寸五分）及沈澱製鍊所附近ニ同二個（其大ナルモノハ長九十九尺、幅二十六尺五寸、深六尺三寸五分、小ナルモノハ長八十一尺、幅三十一尺、深二尺三寸五分）金香瀨鑛區選鑛所ノ北方空地ニ同四個（長三十尺、幅二十尺、深八尺）ヲ完成シ、四十二年十月以降其使用ヲ開始セリ、右ノ外鑛毒除害ヲ有効ナラシメンカ爲メ太盛鑛區選鑛所ニ於ケル銅鑛淘汰ノ際「ロール」機裝入鑛ニ對シ約千分ノ三、七ノ石灰ヲ加フルコトヲ實施セリ

富來鑛山 金鑛

位 置  
鑛業權者代表者

石 川 縣 羽 咋 郡 富 來 村  
木 下

本鑛山ニ於テハ從來混汞鑛尾ハ普通ノ青化法ニ依リ處理セシモ泥鑛頗ル多キヲ以テ壓搾濾過法ヲ採リ泥鑛五百貫入ノ圓錐形攪拌槽二個ヲ設備シ以テ唧筒攪拌ヲ行ヒ泥鑛壓搾濾過機一臺ヲ以テ之ヲ濾過スルコト、セリ尙ホ貧鑛處理ノ目的ヲ以テ更ニ五百六十封度ノ搗鑛杵十本及徑十二尺深四尺八寸ノ砂鑛青化銘解木槽五個ヲ増加ス

尾小屋鑛山 銅鑛

位 置 石川縣能美郡西尾村  
鑛業權者 横山 隆 俊

本鑛山ニ於テハ其支山タル五圖寺鑛區ノ片羽鑛ヲ處理スル爲メ同鑛區内ニ機械選鑛所ヲ新設シ之ニ直徑三呎半ノ「ハンチングトンミル」一臺、水壓分粒器一個、細粒跳汰器一臺、泥鑛尖函一連三個、「オーバーストローム」淘汰盤三臺ヲ裝置セリ而シテ此等諸機械ノ原動力ハ十二馬力石油發働機ニシテ一箇月粗鑛十三萬貫ヲ處理スルノ豫定ナリ

西ノ川銅山 銅鑛

位 置 愛媛縣新居郡大保木村  
鑛業權者 住友 吉 左 衛 門

本鑛山ニ於テハ從來石造銘鑛爐ヲ用ヒタリシカ四十二年中之ヲ銅製局部水胴式銘鑛爐ニ改築シ十一月以降生鑛吹ヲ開始シ生銍ハ直ニ之ヲ眞吹ニ付セリ原動力トシテハ字野地ニ「ペルトン」水車ヲ設置シ三十八馬力發電機及十五馬力電働機ヲ据付ケタリ

浦山鑛山 銅鑛

位 置 愛媛縣宇摩郡土居村  
鑛業權者 隆 鉦 公

本鑛山ノ鑛床ハ大古紀結晶片岩系中ニ層狀ヲ爲セル含銅硫化鐵鑛ニミテ其含銅品位約五%ヲ有シ既知ノ部分平均幅二尺、延長六百尺ニ及ヘリ目下主トシテ探鑛中ニシテ鑛石運搬ノ爲メ鑛山ヨリ天神港ニ至ル三里半ノ間ニ軌道布設中ナリ



赤金鑛山 銀銅鑛

位 置 兵庫縣栗郡繁盛村  
鑛業權者 石原久之助

本鑛山ニ於テハ二番坑道ニ連接センカ爲メ開鑿中ナリシ大切坑道三番坑ハ四十二年末既ニ千八百尺マテ掘進セリ同坑ハ他ニ連絡坑道ヲ有セサルニ依リ工事ノ進捗ニ伴ヒ通風頗ル不良トナリタルヲ以テ從來製鍊用ニ供シタル「ルーツ」式二番形送風機一臺及十馬力水車ヲ之ニ使用シ製鍊用トシテハ別ニ四番形「ルーツ」式送風機ヲ増設セリ又本山ニ於テハ鑛量漸次増加スルニ至リタルヲ以テ既設ノ鎔鑛爐及眞吹床ヲ廢シ之ニ代フルニ高十五尺、徑三尺三寸無水套式圓形鎔鑛爐及深二尺五寸、內徑三尺ノ眞吹床三座ヲ新設ス

別子銅山 銅鑛

位 置 愛媛縣宇摩郡別子山村  
鑛業權者 住友吉左衛門

本鑛山ニ於テハ寬永疏水坑ヨリ排出スル坑水ヲ直ニ第三隧道ニ排出セシムルノ計畫ナリシカ十月月中寬永坑ノ奥ニ「ダム」ヲ築造シテ之ヲ堰止メ爾來第三隧道疏水道ヨリ排出セシムルコト、セリ又本鑛山ノ原動力ハ凡テ之ヲ電氣ニ仰ク目的ヲ以テ新居濱ニ第二發電所ヲ設ケ之ニ「ハイネー」水管式汽罐四臺「スチームタービン」二臺、三相交流式發電機二臺ヲ裝置シ既設發電所ノ供給セル電力ヲ合シテ二千「キロワット」ヲ得ルノ計畫ヲ以テ目下其工事中ナリ

月浦坑ト第三隧道トヲ貫通セシメテ銅山川方面ノ溪水ヲ東平ニ導キ更ニ之ヲ石ヶ山丈ニ致シ同所ニ水頭千八百尺ノ「ベルトン」水車ヲ設クルノ計畫ニテ既ニ該疏水坑道貫通ノ工事ニ着手セリ第三隧道準東延斜坑ノ北方ニ將來新設スヘキ豎坑口ニ向ケ第三隧道奥ヨリ分歧セル水平坑道ヲ開鑿シ四十二年十一月末三百尺ヲ掘進シ尙ホ四十餘尺ニシテ豎坑口ニ達スヘキ筈ナリ

帶江鑛山 銀 鑛 位 置 岡山縣都窪郡早島村

本鑛山ニ於テハ製鍊設備ノ擴張計畫ニ依リ鑛山附屬ノ大島製鍊所ニ高五呎七吋、内徑四呎二吋半、羽口五個ヲ有スル煉瓦製直立内圓筒鑛爐一座ヲ増設シタリ

東山鑛山 銅 鑛 位 置 德島縣麻植郡東山村

本鑛山ハ運搬ノ便ヲ圖リ第三號、第五號坑道間ニ坑内捲揚機ヲ設置シ又鑛石搬出ノ爲メ鑛山ヨリ川島驛附近ニ至リ延長一萬尺ノ索道ヲ架設セントシ既ニ其工事ニ着手セリ

富岡鑛山 銅 鑛 位 置 高知縣吾川郡富岡村

本鑛山ニ於テハ四十一年六月通洞貫通セシヨリ鑛量噸ニ増加セルヲ以テ更ニ高十二尺、徑三尺五寸ノ水胴式鑛爐一座ヲ増設セリ

飯盛鑛山 銅 鑛 位 置 和歌山縣那賀郡麻生津村

本鑛山ハ人造肥料ノ市況不振ノ影響ヲ受ケ前年來其事業ヲ縮少シタリシカ四十二年八月ヨリ漸次其操業ヲ擴張シ先年中ヨリ開鑿中ナリシ四番坑道ノ掘進ニ着手シ十一月末ニ二千三尺ニ及ヘリ、鍾幅ハ約二尺ニシテ含銅品位百分ノ三ナリ又同年七月ヨリ沈澱銅ノ製鍊ヲ開始シ現今一晝夜五百貫ヲ鑛解セリ

長登鑛山 鐵 鑛 位 置 山口縣美禰郡大田村外一村

本鑛山ニ於テハ四十一年九月中烏帽子坑内ニ於テ「コバルト」鑛ノ存在ヲ發見シ爾後酸化「コバルト」製造法研究中ノ處漸ク其目的ヲ達シタルニ依リ四十二年五月ヨリ之カ製造設備ニ着手シ同十二

月ヲ以テ完成シタル其設備ノ大要左ノ如シ

鑛石粉碎用スタンプ 一 臺

杵數三本(杵一本百二十封度)ニシテ「セントヒューガルポンプ」一臺附屬ス

手淘汰場 一 棟

淘汰鑛焙燒用反射爐 長十六尺 幅三尺 一座

藥王寺鑛山 銅鑛 位置 山口縣美濃郡綾木村  
鑛業權者 河邊九良三郎

本鑛山ニ於テハ四番形「ルーツ」式送風機一臺及直徑二尺五寸ノ水筒爐一座ヲ増設セリ又眞吹床二座ノ改築中ナリシカ四十二年七月落成シタルヲ以テ從來他ニ販買シタリシ下鑛モ自今上鑛ト併セテ製鍊スルニ至レリ

波佐見鑛山 金銀鑛 位置 長崎縣東彼杵郡上波佐見村  
鑛業權者 祁答院重義

本鑛山ニ於テハ日ニ十萬貫ノ鑛石ヲ處理スルニ足ルヘキ搗鑛設備ヲ爲シ一箇月ニ金二十四貫、銀七十二貫ヲ產出スルノ豫定ヲ以テ數年前ヨリ大工事ニ着手シ四十二年十一月下旬ニ至リ完成シタルヲ以テ全部ノ試運轉ヲ開始シタリシカ搗鑛機ノ地盤軟弱ナルカ爲メ豫定ノ鑛量ヲ處理スルコト能ハス依テ現時試驗的ニ一小部分ヲ運轉シ更ニ基礎ヲ改築スルノ設計ヲ立テタリ而シテ其落成ニ至ルマテハ今後尙ホ一箇年ヲ要スト云フ又去三十九年初ヨリ擴張ニ着手セシ工事中佐賀縣川上川ノ上流ニ設置シタル三百五十「キロワット」ノ發電機二臺(内一臺ハ豫備)ハ既ニ竣工シ四十二年七月中旬ヨリ電燈及坑内電車ノ動力ニ供セリ

探鑛ニ付テハ從來探鑛ノ結果現今探鑛シツ、アル朝日本樋ト平行セル光盛樋ヲ四十二年六月上旬ニ於テ貫通シ豐富ナル鑛脈ナルコトヲ知悉シタルヲ以テ現時專ラ坑道ノ開鑿ヲ急キ他日探鑛ノ準備ヲ爲シツ、アリ次ニ坑内探鑛物ハ人力又ハ馬力ヲ以テ搬出シタリシカ十月下旬ヨリ電車ヲ使用スルニ至レリ

日平鑛山 銅鑛 位 置 宮崎縣東白杵郡北方村  
鑛業權者 內 藤 政 事

本鑛山ニ於テハ新疏水坑口ヲ距ルコト一千尺ノ所ヨリ東二百五十尺ノ位置ニ高十尺幅十尺ノ斜坑ヲ開鑿シ二十五度ノ傾斜ヲ以テ延長一千尺掘進ノ計畫ヲ立テ去ル四十一年一月ヨリ起工シ目下地表下垂直六十尺ノ位置ニ坑道ヲ設ケ二番坑迄掘進セリ而シテ四十二年六月複胴電氣捲揚機ヲ据付ケ七月ヨリ使用開始セリ又日ケ吳斜坑終點ヲ距ル西方約五十尺ノ位置ヨリ鑛層ヲ追フテ延長五百尺掘下ケ二十度ノ傾斜ヲ以テ斜坑ヲ開鑿シ之ニ電氣捲揚機据付ノ計畫ヲ立テ四十二年十月ヨリ起工シ四十三年上半季中ニ竣工ノ豫定ナリ

串木野鑛山 金銀鑛 位 置 鹿兒島縣日置郡串木野村  
鑛業權者 島 津 忠 重

本鑛山ハ事業擴張ノ目的ヲ以テ一大製鍊所建設ノ計畫ヲ爲シ(既ニ完成)又四百馬力ノ原動力ヲ使用スルノ豫定ニテ工事ニ着手シ其大部分ハ既ニ完成シタリ尙ホ數年來開鑿中ノ疏水坑道モ既ニ千間以上ニ達シ幅二十尺ノ鑛脈ヲ發見セリ

串木野鑛山 金銀鑛 位 置 鹿兒島縣日置郡串木野村  
鑛業權者 三 井 合 名 會 社

本鑛山ノ西山鑛ハ從來數鑛區ニ分立探鑛シ坑内ノ連絡ナカリシニ依リ宮ノ原坑疏水標準ニテ約四

千尺ノ鍾押坑道ヲ開鑿シテ藤澤新坑口迄掘進シ又日野坑口附近ニ大鑿坑ヲ新鑿シ數百尺底部ノ鑛脈ヲ探鑛スルノ計畫ナリシカ鍾押坑道ハ既ニ完成セリ

布計鑛山

金銀鑛

位 置  
鑛業權者

鹿兒島縣伊佐郡山野村  
淺野總一郎

本鑛山ニ於テハ浸出水ノ爲メ廢坑トナリタル舊坑ヲ目的トシ四十二年七月ヨリ約一千尺ノ所ヨリ縱六尺幅七尺ノ排水横坑ノ開鑿ニ着手シ目下工事中ナリ

大口鑛山

金銀鑛

位 置  
鑛業權者代表者

鹿兒島縣伊佐郡大口村  
岩月直彦

本鑛山ニ於テハ從來裝置セル搗鑛機ハ使用久シキニ亘リ腐朽若クハ磨耗缺損シタルヲ以テ其全部ヲ撤去シ之ニ代フルニ新ニ八百五十「ポンド」ノ搗鑛機二臺「十槌」ヲ裝置シ十二月二十九日竣工セリ

漆金山

金銀鑛

位 置  
鑛業權者代表者

鹿兒島縣始良郡蒲生村  
上村良助

本鑛山ニ於テハ從來揚水ニ竹「フイゴ」ヲ使用シ來リタルモ切端ノ漸次降下スルニ從ヒ水量増加シ到底人力ノ堪ヘ難キニ至リタルヲ以テ四十二年七月新ニ蒸氣機關ヲ設置シ八月ヨリ使用運轉セリ

羽島鑛山

金銀鑛

位 置  
鑛業權者

鹿兒島縣日置郡串木野村  
堀之内庄右衛門

本鑛山ニ於テハ水車四臺木製杵八十本ヲ増設スルノ計畫ニテ四十一年十月ヨリ其工事ニ着手シタリシカ四十二年四月竣工セリ

夕張第二炭鑛

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

石狩國夕張郡登川村  
北海道炭礦汽船株式會社

本鑛山ニ於テハ眞谷地方面ノ堅坑開鑿工事ノ進捗セルニ依リ左記ノ碁捲揚機及其原動力トシテ火管式直立汽罐各一臺ヲ設置セリ

捲揚機 綑繩ノ徑四分ノ三吋  
曳揚重量最大速度一分間五百尺

汽罐 常用壓力每平方吋上五十五封度

春鳥炭鑛 石炭鑛 位置 鑛業權者 釧路國釧路郡釧路町  
安田商事合名會社

本鑛山ニ於テハ堅坑ノ竣工ニ依リ坑口附近ニ長二十間幅五間ノ選炭場ヲ構築シ又該堅坑ノ通氣ノ爲メ二號型「ルー」式煽風機二臺及其原動力トシテ單筒橫置式汽機一臺ヲ新設ス

新夕張鑛 石炭鑛 位置 鑛業權者 石狩國夕張郡登川村  
石狩石炭株式會社

本鑛山ニ於テハ若鍋坑ニ於ケル斜坑運搬及排水唧筒ノ原動力トシテ捲揚機一臺及百封度ノ汽罐二臺斜坑掘鑿並ニ採炭用「ドリル」及「ビュール」カッターノ原動力トシテ二段式壓搾機一臺及附屬汽機汽罐ヲ設置シ尙ホ坑内ノ自然通風ヲ機械通風ニ改ムル爲メ「キャペル」式煽風機及其原動力トシテ六十馬力電勵機各一臺ヲ据付ク又鹿ノ谷坑ニ對シテハ選炭法ヲ機械選炭ニ改メ其設備トシテ「チプラー」「シエーキングスクリーン」「ビッキンクベルト」各二個其他選炭機ノ原動力トシテ交流三相式電勵機二十五馬力二十馬力及十五馬力ノモノ各一臺ヲ設置シ又自然通風ヲ機械通風ニ改ムル爲メ若鍋坑ト同様ノ設備ヲ爲セリ

奔別炭鑛 石炭鑛 位置 鑛業權者 石狩國空知郡三笠山村  
日本興業株式會社

本鑛山ニ於テハ選炭方法ヲ機械選炭ニ改メ其設備トシテ「チプラー」「シエーキングスクリーン」「ビ

「キンクベルト」及其原動力トシテ八十封度、コルニツシユ「汽罐」及五十馬力單甯模型汽機各一臺ヲ設置セリ

#### 幾春別炭礦

石炭礦

位置  
礦業者

石狩國空知郡三笠山村  
北海道炭礦汽船株式會社

本礦山ニ於テハ通氣法ヲ機械通風ニ改メ其設備トシテ「チャンピオン」式煽風機及其原動力トシテ橫置式單甯汽機各一臺ヲ設置セリ

#### 小野田炭礦

石炭礦

位置  
礦業者

福島縣石城郡湯本村外二村  
磐城炭礦株式會社

本礦山ニ於テハ四十二年十月出水ノ爲メ第一斜坑全部浸水シ採炭スルヲ得サルニ至リタルモ梅ヶ平ニ於テハ十一月同豎坑汽罐場ニ「ランカシャ」汽罐徑六呎長二十四呎二臺及附屬煙突一臺ノ工事ニ着手シ及長倉ニ於テハ豎坑開鑿工事ヲ續行シ給氣坑ハ八月中旬二百十二尺ニシテ着炭、排氣坑ハ七月下旬二百十八尺ニシテ着炭セリ而シテ其炭層ハ厚サ何レモ七尺九寸ナリトス爾後兩坑共南北ニ坑道ヲ開鑿シ目下專ラ開坑中ナリ長倉ニ増設シタル工作物ハ「ランカシャ」汽罐徑七呎長二十九呎一臺、斜道捲揚用八吋雙汽甯「キーヤ」式捲揚機ヲ設置シタリ右ノ外梅ヶ平及長倉ニ於ケル出炭量増加セルニ依リ從來敷設シアリタル小野田豎坑ニ至ル輕便鐵道ヲ變更シ又本線引込ヲ改築シタリ

#### 内郷炭礦

石炭礦  
位置  
礦業者

福島縣石城郡内郷村外二村  
磐城炭礦株式會社

本礦山ニ於テハ前年中ノ起工ニ係ル發電所ニ二十五「キロワット」直流「エヂソン」發電機二臺ヲ設置シ原動力トシテ五十馬力汽機二臺ヲ新設ノ上專ラ電燈及電氣機械試驗用ニ供セリ四十二年一月

町田堅坑坪下ニ「ジーン」スヴィル、コンバウンドデユブレキス「唧筒」一臺及外一臺ノ「唧筒」ヲ裝置シ三月ニ至リ斜坑三坑道ニ五十馬力電氣捲揚機一臺、尙ホ四馬力「スリースロー」電氣「唧筒」ヲ北四坑道掘下ケニ設置セリ又坑外ニハ五月町田堅坑上部汽罐場ニ「ランカシヤ」汽罐一臺ヲ増設シタリ廣畑堅坑ニ於テハ五月從來使用セシ捲揚機ノ右側ニ「エンドレス」捲揚機一臺ヲ新設シ坑内運炭ノ用ニ供セリ下半年ニ於テハ九月下旬町田排氣堅坑及内郷排氣堅坑ノ開鑿ニ着手シ前者ハ百九尺後者ハ九十六尺餘ニ掘進セリ又町田堅坑ニ於ケル槽ヲ改造シ同所排氣坑ニ八吋ノ捲揚機及「ランカシヤ」汽罐一臺ヲ増設シタリ

三星炭礦 石炭鑛 位置 福島縣石城郡内郷村外二村  
礦業權者 三星炭礦株式會社

本鑛山ニ於テハ前年中神田地内ニ起工セシ堅坑開鑿工事ノ進捗ヲ計リ四十二年一月「インガートン」會社製造壓氣機一基ヲ設置シ「リットル、ジャップ」鑿岩機五臺ヲ使用ス又三月第二堅坑中段及掘下ケニ「ウオシントン」唧筒各一臺、四月ニ於テハ第二堅坑第一段ニ「スペシャル」唧筒、第二段ニ「ウオシントン」唧筒同掘下ケニ「スペシャル」唧筒各一臺ヲ裝置セリ而シテ此等諸機械ノ動力トシテ五月鈴木式直立汽罐二基ヲ増設シ尙ホ煉瓦積煙突一基及貯水池一個ヲ構築セリ本炭礦ニ於ケル堅坑開鑿工事ハ着々進捗シ七月下旬ニ至リ五百七十八尺餘ニシテ着炭シ其炭層厚サ八尺三寸ナリ又綴驛ヨリ本線ヲ引込ミ石炭積込場並ニ選炭場ヲ新設セリ

入山炭礦 石炭鑛 位置 福島縣石城郡内郷村外三村  
礦業權者 入山採炭株式會社

本鑛山ニ於テハ前年中ノ起工ニ係ル汽罐用水路ノ工事ヲ四月ニ於テ完成ス其水頭百餘尺ナリ又



五月下旬湯本驛ニ通スル鐵道布設工事、長サ六十尺ノ積込場及堅坑ヨリ之ニ至ル棧橋ヲ完成セリ  
川平ニ於テハ川向三尺炭探掘ノ目的ヲ以テ八月斜坑開鑿ニ着手シ十月下旬着炭シ目下一日一萬  
餘斤ノ出炭アリ又川平坑及第三坑間ノ堰止工事ハ八月下旬ニ於テ竣工ス第三坑ニ於テハ排水用  
唧筒ヲ悉ク坑底ニ集メ十六吋「スベシヤル」唧筒及十八吋唧筒ヲ増設シタリ第四坑ニ於テハ引續キ  
坑道ノ掘進ニ從事シ十月ヨリ探炭ニ移レリ又第一堅坑坪下ニ八吋「シンブレ」キヌ「唧筒」第二堅坑  
ニ十二吋同唧筒各一臺ヲ据付ケ尙ホ選炭場及機械工作場ヲ新設セリ

#### 勿來炭礦

石炭鑛

位 置  
礦業權者

福島縣石城郡川部村外一  
勿來炭礦株式會社

本鑛山ニ於テハ先ニ開鑿中ナル排氣坑ハ十一月下旬百八尺ニシテ着炭シ十二月ニ至リ徑五呎長  
二十三呎ノ「コルニ」シユ「汽罐」一臺及附屬煙突一基ヲ設置シ尙ホ「スベシヤル」唧筒一臺ヲ据付ケ以  
テ排水用ニ供セリ

#### 中野炭礦

石炭鑛

位 置  
礦業權者

福島縣石城郡窪田村  
中野喜三郎

本鑛山ニ於テハ從來ノ採炭場ハ殆ント採炭ヲ了シタルヲ以テ更ニ鑛區ノ東部ニ於テ試錐ノ結果  
炭層ノ存在ヲ確メ「汽罐」及捲揚機ヲ設置シ斜坑ノ開鑿ニ着手シ工事中ナリ

#### 兔美炭礦

石炭鑛

位 置  
礦業權者

福島縣石城郡赤井村  
兔美炭礦株式會社

本鑛山ニ於テハ從來水準以上ニテ探炭セシカ斷層ニ會セシヲ以テ其後探炭ヲ中止シ新ニ斜坑ヲ  
開鑿シ延長七十間餘ニシテ着炭セリ坑道ニハ九封度軌條ヲ布設シ尙ホ「汽罐」及捲揚機各一臺ヲ設  
置セリ

好間炭鑛

石炭鑛

位 置 福島縣石城郡好間村  
鑛業權者 好間炭鑛株式會社

本鑛山第一斜坑ハ其延長三千九百五十四間ニ達シ之ニ「ランカシヤ」汽罐一基及唧筒二臺ヲ増設ス又第二斜坑ハ延長九百五十四間ニ達シ之ニ唧筒及捲揚機各一臺ヲ据付ケ更ニ六月ニ至リ「ランカシヤ」汽罐一基ヲ新設セリ

秋山炭鑛

石炭鑛

位 置 茨城縣多賀郡松原町  
鑛業權者 桑田知明

本鑛山ニ於テハ四十二年五月山元ヨリ元日鐵海岸線高萩驛ニ至リ二哩三十八鎖間ニ十二封度輕便軌道ノ布設ニ着手シ九月ニ至リ竣工セリ而シテ運搬ニハ一噸積炭車三輛乃至四輛ヲ連結シタルモノヲ一列車ト爲シ馬匹ニ依リ運炭ス該軌道ハ現今單線ナルモ他日事業ノ擴張ニ伴ヒ複線ト爲スノ計畫ナリ

山口炭鑛

石炭鑛

位 置 茨城縣多賀郡北中鄉村  
鑛業權者 山口嘉三

本鑛山ハ四十一年五月創業以來鑛區ノ中樞部ニ於テ炭層ニ沿フテ斜坑ヲ開鑿シ其延長千四百尺ニ達セリ而シテ該斜坑ノ左右ニハ各二坑道ヲ掘鑿シ其延長左側一坑道ハ四百八十尺、二坑道ハ百八十尺右側一坑道千二百九十尺、二坑道ハ五百四十尺餘ニ及ヘリ四十二年七月ヨリ退却長壁法ヲ以テ採炭ヲ開始シ出炭量漸次増加ノ趨勢ヲ呈セリ運炭ノ設備トシテハ山元ヨリ磯原驛ニ至ル二哩六十四鎖間ニ軌道ヲ布設シ六月ニ至リ工事完成ヲ告ケタリ又斜坑ニハ徑十吋衝程十五吋ノ複筒捲揚機一臺、捲上及排水用「コルニッシユ」式汽罐二臺、徑八吋「スベシヤル」唧筒一臺ノ外山元ニ百二十坪ノ選炭場及磯原驛ニ六十六坪ノ積込場ヲ新設セリ

茨城無煙炭礦

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

茨城縣多賀郡華川村外一村  
茨城無煙炭礦株式會社

本鑛山ニ於テハ四十二年一月捲揚通風及排水用トシテ深サ約三百尺ノ豎坑開鑿ニ着手セシカト  
二月ニ至リ竣工セリ又十月右六坑道ノ探炭ニ着手シ左五坑道ニ排水用十五馬力ノ電氣唧筒及附  
屬電働機各一臺山下新豎坑内ニ二十五馬力電氣唧筒及附屬電働機各一臺ヲ何レモ新設セリ

鉦田炭鑛

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣嘉穗郡笠松村外三村  
三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ第三坑ニ「スチームタービン」一臺ノ据付ヲ了シ第三坑全部及第四坑内一部ノ排水  
ヲ電氣唧筒ニ改メ又第三坑ト第四坑トノ間ニ運炭用電氣機ノ使用準備ヲ爲セリ又第四坑内殘部  
ノ排水ニ對スル電氣唧筒ノ据付ケ並ニ第四坑電氣捲揚機ハ既ニ其設置ニ着手シ其他第五坑鴨生  
坑ヲ開鑿シ同坑ヨリ搬出スル石炭ハ總テ之ヲ第一坑選炭場ニ集中センカ爲メ電氣軌道ノ布設ニ  
着手シ目下其工事中ナリ尙ホ下半年ニ入り第三坑ニ五百「キロワット」「スチームタービン」一臺及「パ  
ンプ」クウイルコックス「汽罐」二臺ノ増設ニ着手ス

下山田炭鑛

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣嘉穗郡熊田村外二町村  
古河鑛業會社

本鑛山ニ於テハ四十二年上半季ニ於テ第二坑ノ開鑿ニ着手シ目下捲揚及排氣坑タル兩斜坑道各  
百三十間迄掘進シ引續キ工事中ナリ而シテ其坑口附近ニハ蒸氣原動工場ヲ新設シ既ニ其運轉ヲ  
開始セリ第一坑及第二坑ノ間ニハ兩坑ノ連絡ヲ計ル爲メ延長百六十間ノ隧道ヲ開鑿シ之ニ「エン  
ドレスロープ」ヲ布設シ第二坑ノ出炭ヲ第一坑中山選炭場ヘ運搬スルコト、セリ

牟田炭鑛

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣嘉穗郡鎮西村外二村  
伊藤傳右衛門

本鑛山ニ於テハ四十二年十月以來花瀨鑛區内ニ數個ノ試錐ヲ下シ目下百九十尺及五十一尺ニ達セルモノ二箇所アリ又坑外運搬ニ付テハ第一坑ノ運炭上馬匹ヲ廢シ十二吋「エンドレスロープ」ヲ布設セントスルノ計畫中ナリ

三井山野炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣嘉穗郡稻葉村外三村  
鑛業權者 三井合名會社

本鑛山ニ於テハ山野本坑及漆生坑等ニ對シ坑内外ニ要スル電力ノ供給ヲ目的トシテ鴨生坑々場ニ百六十五「キロワット」三雙交流發電機二基ヲ据付クルノ設計ヲ立テ其工事ニ着手セリ又本坑ノ汽罐及居住者ニ對シテハ從來嘉麻河畔ニ設置シクル蒸氣唧筒ニ依リ給水セシカ之ニ代フルニ電氣唧筒ヲ以テシ更ニ漆生及鴨生坑ヘモ併セテ同所ヨリ給水スルノ設計ヲ立テ既ニ其工事ニ着手シ四十三年四月竣成ノ豫定ナリ其他鴨生坑ニ水洗式選炭機ヲ据付ケ振動篩ト回轉手選帶トノ間ニ於テ塊炭ヲ洗滌シ硬石ノ選出ヲ容易ナラシムル計畫ヲ以テ起工シ四十三年三月完成ノ豫定ナリ

製鐵所二瀨炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣嘉穗郡二瀨村外一町三村  
鑛業權者 農 商 務 省

本鑛山ニ於テ去ル三十九年中起工ニ係ル中央堅坑ノ工事ハ着々進捗シ其深度既ニ八百八十尺ニ達セリ四十二年十一月中四尺炭ノ上部ニ在ル七ヘダ炭ノ探掘ヲ目的トシテ七層坑ノ開鑿ニ着手シ四十三年二月竣工ノ豫定ナリ

忠隈炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣嘉穗郡穗波村外一町一村  
鑛業權者 住友 吉 左 衛 門

本鑛山ニ於テハ變炭後坑内復舊ノ爲メ漸次探掘區域ノ擴張ヲ計ルト同時ニ設備ノ改良及新設ニ着手シ又ハ竣成シタルモノ概ネ左ノ如シ

坑内通氣ヲ良好ナラシメンカ爲メ四十二年一月第三坑々口附近ニ排氣量二十五萬立方尺、水柱五吋「キャベル」式煽風機一臺之ニ直結スルキ二百四十五馬力「バーチカルコンパウド、エンクローゾド、スチームエンジン」二臺、インデペンデンド、ゼット、ニンデンサー」一臺ノ据付ケ工事ニ着手シ六月中竣工セシヲ以テ從來使用ノ「チャンピオン」式煽風機ハ其使用ヲ廢止セリ

坑内下底ノ排水ニ「タービン」式電氣唧筒ヲ使用スル目的ヲ以テ三雙交流二千二百「ボルト」發電機二基ヲ据付クルノ設計ヲ以テ其基礎工事ニ着手シ四十三年中ニ全部完備ノ豫定ナリ

前記煽風機、電氣唧筒及發電機用トシテ四十二年六月ヨリ「ランカシャ」式徑七呎長三十呎氣壓百封度ノ汽罐三臺ヲ第三坑汽罐場ニ増設シ十一月中竣工セリ

煽風機、電氣唧筒及發電機凝縮機用冷却水並ニ飲料用トシテ四十二年七月ヨリ穗波村大字秋松ニ徑十八呎ノ圓形井戸ヲ増掘シ之ヨリ四千二百尺ノ間徑八吋及六吋ノ鐵管ニ依リ第三坑ニ新設シタル煉瓦製貯水池二箇所ニ送水スヘキ工事ニ着手シ十二月末竣工セリ

前年掘進ヲ中止セシ本坑本卸斷層縫ハ四十一年九月中炭層ノ所在ヲ認メタルヲ以テ引續キ坑道開鑿ニ着手シ四十二年二月上旬着炭目下探炭ヲ爲シツ、アリ

之ニ買收セシ笠松試掘鑛區ニ付キ探掘許可ヲ得タルヲ以テ本鑛區第三坑ノ又卸ヲ延長シテ探炭スル計畫中ナリ

新原海軍炭山 石炭鑛 位置 鑛業權者 福岡縣粕屋郡須惠村外三村 海軍 省

本鑛山ニ於テハ第五坑本卸ノ深サ三百六間餘ニ達シ其地表設備トシテ高壓汽罐一座、徑十六吋捲

揚機四臺、十「キロワット」發電機二臺及「カベル」式一分間十五萬立方呎ノ排氣力ヲ有スル煽風機ヲ新設セリ又第五坑ヨリ運炭用ノ鐵道一哩十六鎖ヲ布設セリ右ノ外下半季ニ入り各坑ニ對シテ完成シタル設備左ノ如シ

第三坑 「ランカシヤ」汽罐

一 基

第四坑 坑内第二唧筒座及水溜新設、本卸電燈架設（「エンドレス」軌道沿線）

選炭機室

一 棟

第五坑 十八吋「エゾアンス」式唧筒

二 臺

汽筒徑十五吋衝程十四吋ノ煽風機用發電

機豫備原動機

一 基

徑六呎長三十吋「ランカシヤ」式汽罐

二 基

選炭機（選炭力一時間五千噸）

一 基

新手機業所

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣遠賀郡長津村外二村  
伊藤 藤 傳 右 衛 門

本鑛山ニ於テハ從來十六吋及十三吋ノ捲揚機各一臺ヲ使用セシカ右十三吋ヲ十六吋ニ更メ四十二年八月其工事ニ着手シ十二月末竣成セリ又排水設備ニ付テモ在來ノ十八吋「スペシャル」唧筒二臺及同十二吋一臺ノ使用ヲ廢止シ更ニ「エンバス」式十八吋十六吋各一臺及十二吋二臺ヲ据付ケタ

中鶴炭鑛 石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣遠賀郡長津村外二村  
伊藤 藤 傳 右 衛 門

本鑛山ニ於テハ五尺炭層ヨリ高江炭層探鑛ノ爲メ四十二年七月排氣坑々底ヨリ試錐ニ着手シ年  
末ニ於テ深サ百二十尺ニ達セリ又筑豊線中間驛ヨリ分岐シ堀川端積込場ニ至ル約二十五鎖間ノ  
運炭鐵道ヲ布設スル計畫ヲ立テ四十二年中ニ敷地買収及設計ヲ了シ四十三年一月起工六箇月間  
ニ竣工ノ豫定ナリ

#### 岩崎炭礦

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣遠賀郡長津村  
岩崎時久米吉

本鑛山ニ於テハ上半季中大底炭及大根土炭探掘ノ目的ヲ以テ橫坑ノ開鑿ニ着手セシカ下半季ニ  
入り第三坑(上弦層)内及第三坑右六片以下ニ於ケル排氣ノ爲メ長津村大字中間大辻地内ニ橫坑道  
ヲ開鑿スルコト、シ其延長七十間ノ豫定ヲ以テ十一月ヨリ起工シ四十三年五月中竣工ノ見込ナ  
リ

#### 大之浦炭礦

石炭鑛

位 置  
鑛業權者

福岡縣鞍手郡宮田村外四村  
貝島太助

本鑛山ニ於テハ菅牟田第五坑開鑿中ノ處四十二年一月三百十七間餘ニシテ豫定ノ三尺層ニ着炭  
シタルニ依リ稼行方面亦多數トナレリ又從來ノ假設十四吋捲揚機ヲ十六吋雙汽笛捲揚機ニ更メ  
十月初旬工事完成セリ

桐野二坑ニ於テハ二月ヨリ通氣並ニ運搬用斜坑ノ開鑿中ナリシカ十二月ニ至リ坑口ヨリ三百七  
十間ニシテ貫通シ坑内ノ連絡ヲ得タルニ依リ通氣上多大ノ効果ヲ奏シタリ又同坑ニ於テハ低壓  
汽罐ヲ廢シ徑七呎三吋長三十呎ノ「ランカシャ」式汽罐五基並ニ口徑六呎高百二十尺ノ煉瓦煙突一  
基ノ建設工事ニ着手シ六月初旬竣工シタリシカ十一月下旬瓦斯爆發ノ爲メ探掘ヲ中止シ復舊工

事中ナリ

滿ノ浦、桐野三坑ニ於テハ五月以來排氣坑道及運搬斜坑開鑿中ノ處排氣坑道ハ既ニ二百十八間餘ニ達シ豫定ノ三尺層マテ僅ニ十五間ノ距離内ニ進ミ四十三年一月中ニ着炭ノ豫定ナリ又運搬坑道ノ三尺層ニ達スル豫定距離ハ二百五十四間餘ニシテ四十三年三月末工事完成ノ見込ナリ其他滿ノ浦一坑ニハ排氣ノ爲メ圓周十四尺深二百尺ノ堅坑開鑿工事ニ着手シ四十三年上半季中ニ落成ノ豫定ナリ

大辻炭鑛 石炭鑛 位置 福岡縣遠賀郡香月村外二村 助

本鑛山ニ於テハ從來第一坑及第四坑共ニ馬匹運搬ヲ行ヒシカ上半季中之ヲ「エンドレス」ニ改良セリ其他第一坑ニ徑六尺長三十尺ノ汽罐一基ヲ増設シ又第四坑ニ十二月初旬ヨリ深サ百五十六尺ノ排氣堅坑開鑿ニ着手シ四十三年四月末竣工ノ豫定ナリ

新入炭鑛 石炭鑛 位置 福岡縣鞍手郡新入村外二町五村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ通氣排水並ニ運搬ヲ便ナラシムル爲メ四十一年第一堅坑附近ニ新ニ堅坑ノ開鑿ニ着手シ四十二年中掘進四百八十尺ニ達シ全工程ノ約七分ヲ竣工シ四十三年九月マテニハ全部落成ノ豫定ナリ

方城炭鑛 石炭鑛 位置 福岡縣田川郡方城村外二村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ第一堅坑ニ雙汽笛徑二十二吋捲揚機ヲ据付ケタル外第二號「リードラ」唧筒据付ケニ着手シ四十三年一月中完成セシムヘキ豫定ナリ又先ニ新設ニ係ル徑十一尺ノ「ラトウ」式煽風機



ヲ四十二年五月ヨリ運轉シ目下一分間ニ八百立方呎ノ空氣ヲ排出シツ、アリ而シテ同煽風機ノ回轉數ハ一分間五十六ナリトス

### 木屋瀬炭礦

石炭礦

位 置  
礦業權者

福岡縣鞍手郡木屋瀬町  
吉

本鑛山ニ於テハ高江炭層採掘ノ爲メ五月ヨリ坑口開鑿工事ニ着手シ其工程着々進捗セルモ更ニ工事ノ進行ヲ計ランカ爲メ捲揚機据付ケ準備中ニシテ四十三年一月ニハ完成ノ豫定ニ付同六月頃ニハ着炭ノ見込ナリ

### 三井本洞炭礦

石炭礦

位 置  
礦業權者

福岡縣鞍手郡下境村外二村  
三井合名會社

本鑛山ニ於テハ第二坑中央排水組織ノ唧筒ヲ九十六立方呎シエネスビール、デユプレッキス唧筒ニ改メ同式唧筒九臺ノ据付ヲ了セリ又其他ノ各方面ニ散在セル總テノ排水動力ヲ電氣ニ改メ五乃至二十五立方呎三聯式及「タービン」式電氣唧筒三十三臺ヲ設置セリ右ノ外各坑中央ノ位置ニ發電所ヲ新設シ之ニ三雙交流二千三百「ボルト」二百「キロワット」ノ發電機二臺並ニ之ニ要スル汽罐、バブコックウキルコック「五百馬力」ノモノ四臺ヲ据付ケタリ、採炭ニ付テハ全部長壁法ニ依リ炭層低薄ニシテ坑道内炭車ヲ通スル能ハサル部分ノ盤岩及斷層ノ開掘等ニ對シ二臺ノ空氣壓搾機ヲ坑内ニ据付ケ「リットルワンダー」式鑿岩機數臺ヲ使用スルコト、セリ

### 金田炭礦

石炭礦

位 置  
礦業權者

福岡縣田川郡糸田村外三村  
毛利元昭

本鑛山ニ於テハ山ノ谷排氣坑ニ「キャペル」式改良通風機一臺ヲ設置セリ右ハ五十馬力ノ電動機ニ依リ運轉スルモノニシテ一分間ノ排水量十五萬立方呎ナリ又坑内ノ排水機及捲揚機ニ配電スル

爲メ百六十「キロワット」發電及「ランカシヤ」汽罐各一臺ヲ發電所ニ増設セントシ既ニ其基礎工事ヲ落成シ四十三年夏期マテニハ全部竣工ノ豫定ナリ

豐國炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣田川郡糸田村外三村二町 明治鑛業株式合資會社

本鑛山ニ於テハ從來卸坑道長キニ失シ坑内運搬上不便ナルノミナラス卸先ニ斷層(落着百五十尺向上リ)アリテ通風意ノ如クナラス依テ斷層先キニ約十萬坪ノ區域ヲ畫シ新坑(第二坑ト稱ス)ヲ開鑿シ以テ右區域内ノ採炭ヲ行フ目的ヲ以テ四十二年四月中其工事ニ着手シ四十三年落成ノ豫定ナリ又前年中ノ起工ニ係ル第三排氣豎坑ハ四十二年一月末竣工シタルヲ以テ通風上至大ノ便益ヲ得タリ

峰地炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣田川郡添田村 鑛業權者代表者 柏木勘八郎

本鑛山ニ於テハ十五「キロワット」六百「ボルト」ノ發電機一臺ヲ据付ケ之ニ依リ「タービン」式五十馬力唧筒ヲ運轉シ傍ラ電燈ニ供給セリ又徑八吋長三十呎ノ選炭機ヲ新設シ既ニ工事落成セリ

三井田川炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣田川郡後藤寺町外五村 鑛業權者 三井合名會社

本鑛山ニ於テハ伊田坑口ヲ距ルコト西方百二十間ノ地點ニ二個ノ豎坑ヲ開鑿シ田川八尺、同四尺ノ兩炭層ヲ採掘スルノ目的ヲ以テ三十八年八月以來其工事ニ着手シ第一坑ハ掘進千百九十六尺、第二坑ハ千四十九尺ニ達ス而シテ第一坑ハ既ニ八尺、四尺兩炭層ニ着炭セルモ第二坑ハ八尺層ノミノ着炭ナルヲ以テ目下尙ホ掘進中ニアリ

三池炭鑛 石炭鑛 位 置 福岡縣三池郡大牟田町外一町十一ヶ村 鑛業權者 三井合名會社

本鑛山ニ於テハ從來横須棧橋ニテ帆船積込ヲ爲シ口ノ津港ニテ本船積込ヲ爲シ居タルカ棧橋及帆船ノ積込及輸送力ハ其限度一日四千噸ニ過キスシテ到底三池現出炭量ヲ處理スルコト能ハサルノミナラス萬田坑ノ出炭ハ次第ニ増加スルヲ以テ面積四萬坪水深最少限二十八尺ニシテ千三百八十尺ノ繫壁ヲ有シ之ニ一萬噸ノ汽船三隻ヲ同時ニ横着ケスルコトヲ得外大小五隻ノ汽船ノ同時ニ荷役ニ堪ユル三井船渠及六千尺ノ突堤及三千尺ノ防波堤各一對ヲ有スル三池港ノ築造中ナリシカ四十二年四月中其第一期工事ヲ終リ開港セリ三井船渠繫船壁上ニハ壁ヲ沿フテ横進スル臺ノ特許三池式積込機械アリ各一臺ノ積込能力一晝夜五千噸ナリトス又該壁上ニハ六臺ノ積込機ヲ裝置スルコトヲ得ヘク之ニ依リ一晝夜三萬噸ノ積込ヲ爲スコトヲ得

#### 相知炭礦 石炭鑛

位 置 佐賀縣東松浦郡相知村  
鑛業權者 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ本坑々内西部大斷層以西運搬不便ノ爲メ新ニ坑道ヲ開鑿シ之ニ電勵「エンドレス」ロープヲ設置シ四十二年十一月中旬落成シタルヲ以テ同方面ニ於ケル運搬上ノ利便増進シタリ依テ東部炭質不良部ノ探掘ヲ停止シタルニ依リ生スル出炭ノ減少ヲ補フ豫定ナリ、牟田部坑ノ方面本坑ニ接近スル部分ヲ買收シ二箇年繼續事業トシ四十二年十月ヨリ本坑西一片盤ヨリ西向新坑道ノ開鑿ニ着手シタリ又在來使用ノ坑内蒸氣唧筒ヲ電氣唧筒ニ改メ尙ホ坑外發電機室ヲ改築ノ上動力用トシテ百五十「キロワット」直流發電機及電燈用五十「キロワット」發電機各一臺ヲ増設シ從來使用ノ動力用百「キロワット」二十「キロワット」發電機ハ之ヲ豫備トセリ、牟田部支坑ニ於テハ新ニ電勵「スリースロー」唧筒三臺及之ニ要スル七十五「キロワット」發電機一臺ヲ据付ケ其他坑外ニ在

テハ運炭用道路ヲ開設シ之ニ「エンドレスロープ」ヲ布設スルノ工事ニ着手セリ

芳谷炭鑛 石炭鑛

位 置 佐賀縣東松浦郡北波多村外一村  
鑛業權者 芳谷炭坑株式會社

本鑛山ニ於テハ第四坑開鑿ノ位置確實ノ資料ニ供スル爲メ「ダイヤモンドボーリング」機ヲ据付ケ  
六月上旬ヨリ北波多村大字山彦ニ試錐ヲ下シ目下進錐中ナリ

岸嶽炭鑛 石炭鑛

位 置 佐賀縣東松浦郡北波多村  
鑛業權者代表者 古賀製次郎

本鑛山ニ於ケル第二坑ハ目下掘進百三十間ニ達シ四十四年九月豫定工事ノ完成ヲ期セリ又四十  
二年五月中旬ヨリ該口ニ十四吋捲揚機据付ケニ着手シ四十四年三月落成ノ豫定ナリ

高島炭鑛 石炭鑛

位 置 長崎縣西彼杵郡高島村外一村  
鑛業權者 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ去ル四十年ヨリ繼續工事ナル二子島新坑ハ其延長第一斜坑ハ千八十尺第二斜坑  
ハ九百四十尺ニ達シ即チ全工程ノ約六分ノ一ヲ竣工ス而シテ全部ノ落成ハ來ル四十八年ノ豫定  
ナリト云フ

松浦炭鑛 石炭鑛

位 置 長崎縣北松浦郡世知原村  
鑛業權者 合資會社松浦炭坑

本鑛山ニ於テハ新坑探登二五九號開坑ニ伴ヒ「ランカシヤ」式徑七呎長三十呎ノ汽罐及汽笛徑十二  
吋衝程二十四吋ノ横置式雙汽笛蒸氣汽罐各一基ヲ据付ケ尙ホ從來ノ汽機汽罐ヲ本坑口ニ据付ケ  
更ニ本坑内「エンドレスロープ」布設ノ目的ニテ目下汽機汽罐ノ基礎工事中ニアリ

松島炭鑛 石炭鑛

位 置 長崎縣西彼杵郡松島村  
鑛業權者 古賀春一

本鑛山ニ於テハ排水設備ヲ完全ナラシメンカ爲メ坑外ニ於テハ四十二年七月及九月ニ徑七呎ノ

「ランカシヤ」式汽罐六臺ノ増設ニ着手シ十月ニ至リ何レモ完成セリ又坑内ニ在テハ「スベシヤル」唧筒ヲ廢シ之ニ代フルニ二十吋「エバンス」唧筒五臺設置ノ目的ヲ以テ十二月ニ於テ其工事ニ着手セリ

### 大嶺海軍探炭部

石炭鑛

位置  
鑛業權者

山口縣美禰郡大嶺村外一村  
海軍

本鑛山ニ於テハ荒川坑口附近ノ單線軌道ヲ其奥部約九十間ヨリ複線ト爲シ又同坑ニ從來桃ノ木坑車卸坑口ニ假設シアリシ四十馬力捲揚機ヲ移轉据付ケ中ナリ、樋ヶ谷右二片坑道ハ荒川零片坑道ニ貫通ノ目的ヲ以テ四十一年十一月起工シ四十二年末マテニ約八十間ヲ開鑿セシモ豫定距離ニ對シ尙ホ四十間ヲ餘スニ依リ目下銳意開鑿中ナリ而シテ本工事ノ完成ヲ俟チ右二片以上ノ坑水ハ全ク之ヲ荒川坑ニ流下セシメ自然ノ勾配ニ依リ坑外ニ排出セシム

### 沖ノ山炭鑛

石炭鑛

位置  
鑛業權者

山口縣厚狹郡宇部村  
邊祐策

本鑛山ニ於テハ先年來第三、第四斜坑開鑿ノ爲メ沿岸ノ埋立ヲ爲シ爰ニ坑夫納屋數十棟ヲ新築シ一面貯炭場ヲ擴張シ又棧橋三條ヲ架設シ直ニ船舶ニ積込ムコトヲ得セシメタリ尙ホ第一、第二坑斜坑ヨリ掘進シタル部面ハ既ニ全部探掘ヲ了リタルヲ以テ十二月限り之ヲ閉鎖セリ

### 押野鑛山

硫黃鑛

位置  
鑛業權者

渡島國龜田郡古武井村  
押野

本鑛山ニ於テハ製鍊用薪材運搬ノ爲メ延長約一哩ノ玉村式單線鐵索ヲ架設シ之カ原動力トシテ十五馬力「コルニッシュ」汽罐及十五馬力「アトラスエンヂン」各一基ヲ設置セリ其他通信設備トシテ山元、古武井濱間延長六哩餘及前記索道停車場間一哩ニ特設電話架設ニ着手セリ

沼尻硫黃鑛山

硫黃鑛

位 置  
鑛業權者

福島縣郡香妻村  
日本硫黃株式會社

本鑛山ニ於テハ硫黃及其他諸材料運搬ノ便ヲ計リ製鍊場大原間一哩餘ニ玉村式鐵索ヲ架設シ又

薪材運搬ノ爲メ製鍊場土橋間二哩ニ馬車鐵道ヲ布設セリ

九重山硫黃鑛

硫黃鑛

位 置  
鑛業權者

大分縣玖珠郡飯田村外一付  
廣海二三郎

本鑛山ハ元來活火山ニシテ噴火口ノ周圍ノ地上ニ硫黃ヲ附着セシメ採取スルモノニシテ去ル三

十九年ヨリ大噴火口ノ改築工事ニ着手シ爾來年々繼續作業ニ從事セルモ全部完成ニ至ル迄ハ尙

ホ二三年ヲ要スヘシ

### 三 事業ヲ縮少シ又ハ休止シタル鑛山

寶永鑛山

銅鑛

位 置  
鑛業權者

青森縣三戸郡上郷村外一郡一付  
村井吉兵衛

鑛況不良トナリ八月ヨリ選鑛及製鍊ヲ休止シ目下專ラ探鑛中ナリ

松森鑛山

金銀鑛

位 置  
鑛業權者

宮城縣栗原郡長峰村  
桂二郎

鑛況不良トナリ十月ヨリ製鍊ヲ休止シ目下探鑛中ナリ

大地鑛山

金 鑛

位 置  
鑛業權者

秋田縣鹿角郡七瀧村  
安田善次郎

本鑛山ハ小坂鑛山ノ支山ナリシカ坑内ノ狀況不良ナルカ爲メ休業シ僅ニ探鑛ニ從事セルノミナ

リ

大葛金山

金 鑛

位 置  
鑛業權者

秋田縣鹿角郡大葛村  
三菱合資會社

本鑛山ハ收支相償ハサルカ爲ノ全然休業セリ

唐戸屋鑛山 銀銅鑛 鑛業權者 山形縣東置賜郡三澤村

鑛產物ノ市況不振ナルカ爲メ亞鉛鑛ノ探掘ヲモ中止セリ

多寶鑛山 鉛銅鑛 鑛業權者 新潟縣西蒲原郡間瀬村

本鑛山ニ於テハ近來鑛況振ハス爲メニ四十二年五月以後探鑛製鍊ヲ廢シ專ラ夷子坑ト稱スル大切坑ヲ掘進シ從來探掘シタル鑛床ノ下部ニ達スルノ豫定ナリシカ其工程半ニ至ラスシテ十一月ヨリ休業セリ

高倉鑛山 銀銅鑛 鑛業權者 新潟縣岩船郡下海府村

本鑛山ハ明治三十六年以來試掘中ノ所四十一年春其事業ヲ擴張シ山元ヨリ大字今川ノ海濱ニ至ル間一哩半九封度ノ軌道ヲ布設シ又今川筋ノ流水ヲ以テ十五馬力ノ「ペルトン」水車ヲ連轉シ三番形「ルーッ」式煽風機一臺及內徑三呎ノ水箆鑛爐一座ヲ有スル製鍊場ヲ新設セシカ鑛鑛ノ結果及其後ノ鑛況良好ナラサルヲ以テ事業ヲ縮少シ目下ハ單ニ良鑛ナル部分ノ探掘ヲ行セ之カ地床吹ヲ爲シ居レリ

畑鑛山 銅鑛 鑛業權者 新潟縣岩船郡關谷村

本鑛山ハ前年末ニ於テ約七十名ノ鑛夫ヲ使役セシカ銅價不振ノ爲メ僅ニ十二名ヲ殘シ他ハ四十二年六月解雇シ其後ノ處置ニ付キ講究中ノ處八月ニ至リ火災ヲ起シ製鍊場、坑夫長屋其他ノ建物ノ殆ント全部ヲ焼失シタルヲ以テ全然休業スルニ至レリ

寶鑛山 銅硫化 鑛業權者 置 山梨縣南都留郡寶村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ從來探掘シタル銅鑛ノ減少セシニ依リ四十二年一月以來製鍊ヲ全廢シ其後一箇月八百噸ノ豫定ヲ以テ硫化鐵鑛ヲ探掘シ之ヲ延長千二百尺ノ架空鐵索ニ依リ笹子驛ニ搬出シ王子町關東酸曹會社ヘ賣却シ居レリ

平金鑛山 銀銅鑛 鑛業權者 置 岐阜縣大野郡生川村 橫山 隆興

本鑛山ニ於テハ銅價不振ノ爲メ貧鑛ヲ處理スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ自然探鑛區域ノ縮少ヲ來シ其結果從來使役ノ鑛夫ヲ減員シタリ

小百鑛山 金銀 鑛業權者 置 栃木縣河內郡豐岡村 小百鑛山合資會社

本鑛山ニ於テハ鑛床ヲ掘下ケルコト六十尺ニシテ急ニ硫化鐵鑛ヲ増加シ銅鑛噸ニ減少スルニ至リタルヲ以テ上半季中廢業セリ

大松山鑛山 金銀鑛 鑛業權者 置 靜岡縣加茂郡下河津村 黒瀧長次郎

本鑛山ニ於テハ從來搗鑛混汞法及青化法ニ依リ收金ヲ爲シツ、アリシカ混汞法ハ多額ノ經費ヲ要スル割合ニ收金僅カニ四割ニ過キササルヲ以テ四十二年七月之ヲ廢止シ鑛石ヲ熔燒シタル後專ラ青化法ニ依ル收金試驗ヲ行ヒタルモ好果ヲ見サリシニ依リ九月中旬再ヒ之ヲ廢シ從前ノ通リ混汞法ヲ併用スルニ至レリ此等支障ノ爲メニ產額ニ於テモ甚タシキ減少ヲ來セリ

倉谷鑛山 金銀銅 鑛業權者 置 石川縣石川郡犀川村 倉谷鑛山株式會社

本鑛山ニ於テハ現今ノ排水準以上ノ鑛況漸次不良トナリ更ニ下底部ノ探掘ニ付テハ長距離ノ排



水坑ヲ開鑿スルカ又ハ有力ナル排水機ノ設置ヲ要スルモ鑛況之ニ伴ハサルノ疑アルヲ以テ十一月以降探掘事業ヲ休止セリ

三光鑛山

銅硫位 鑛業權者 福井縣大飯郡本郷村 武田恭作

本鑛山ニ於テハ舊坑ノ取明ケヲ完成シ上半季末ヨリ探鑛ニ着手セシモ斷層意外ニ多ク操業頗ル困難ヲ感シ終ニ休山ニ決行セリ

久喜鑛山

銀銅鑛 鑛業權者 島根縣邑智郡出羽村 藤十郎

鑛床ノ模様漸次不況ニ陥リタルニ依リ全然探鑛製鍊ヲ廢シ現今僅ニ數名ノ坑夫ヲシテ探鑛セシム

銅ヶ丸鑛山

金銀鑛 鑛業權者 島根縣邑智郡吾郷村 堀藤十郎

鑛床ノ模様不良トナリ加之四十二年ノ火災ニ依リ選鑛製鍊ノ諸機械及汽機汽罐等ヲ燒失シタルヲ以テ目下探鑛ニ從事セルニ過キス

鹿野鑛山

安質母位 鑛業權者代表者 山口縣都濃郡鹿野村 春原隆次郎

前年末安質母尼價格暴落ノ爲メ六月上旬ヨリ縮少ノ方針ヲ採リ事業ヲ總テ半減シテ稼行ヲ繼續シツハアリシカ下半季ニ入ルモ市況恢復ノ見込立タス加之探鑛箇所坑内深底ニ進ミ鑛脈亦漸次縮少ヲ告ケ到底收支ヲ維持スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ七月中旬遂ニ事業ヲ休止シ次ヲ十二月ニ及ヒ廢業セリ

狐塚鑛山

銅鑛 鑛業權者代表者 山口縣阿武郡生雲村 桑政

銅價下落ノ爲メ著シク事業ヲ縮少シ殆ント休業同様ノ姿トナリ漸ク四五名ノ鑛夫ニ依リ稼行ヲ繼續スルニ過キス

峯鑛山 銅鑛 位置 宮崎縣東臼杵郡北方村外一村  
鑛業者 三菱合資會社

本鑛山猿渡鑛區ハ銅價恢復ノ見込ナキヲ以テ縮少準備中ナリ又槇峯鑛區ハ主要鑛脈大斷絶ニ會シ爾來探鑛ノ結果鑛脈ノ存在ヲ認メタルモ銅價下落ノ爲メ未タ著シキ發展ヲ見ス

矢野鑛山 金銀鑛 位置 福岡縣八女郡星野村  
鑛業者 矢野友吉

本鑛山ニ於テハ柳原鑛區內字「ヲテバタ」ニ新坑ヲ開鑿シ又第一、第二坑ハ坑內瀦水ノ爲メ休止セリ

夕張第一炭鑛 石炭鑛 位置 石狩國夕張郡登川村  
鑛業者 北海道炭礦汽船株式會社

炭況不良ノ結果五番坑全部ノ採炭ヲ休止セリ

奈井江炭鑛 石炭鑛 位置 石狩國空知郡奈井江村  
鑛業者 日本興業株式會社

炭況不振ニ依リ採炭ニ制限ヲ加ヘタリ

茅沼炭鑛 石炭鑛 位置 後志國岩内郡茅沼村  
鑛業者 岩内炭礦合資會社

炭況不振ニ依リ採炭ニ制限ヲ加ヘタリ

右近茅沼炭鑛 石炭鑛 位置 後志國岩内郡茅沼村  
鑛業者 右近權左衛門

炭況不振ノ結果採炭ニ制限ヲ加ヘタリ

釧路炭鑛 石炭鑛 位置 釧路國阿寒郡舌辛村  
鑛業者 釧路炭礦株式會社

炭況不振ノ結果採炭ニ制限ヲ加ヘタリ

歌神炭礦 石炭鑛 位 置 石狩國空知郡歌志内村

炭況不振ノ結果採炭ニ制限ヲ加ヘタリ

オマナイ炭礦 石炭鑛 位 置 石狩國空知郡三笠山造村

炭況不振ニ依リ一時事業ヲ休止セリ

安田白糠炭山 石炭鑛 位 置 釧路國白糠郡白糠村

四十二年ヨリ出炭ノ計畫ニテ坑道開鑿中ナリシカ炭況不良ノ爲メ採炭ニ關スル設備ハ之ヲ繰延ヘタリ

山口炭礦 石炭鑛 位 置 福島縣石城郡内郷村

本鑛山ニ於テハ採炭箇所減少シ目下殘炭ヲ採掘スルニ過キス從テ鑛夫モ半減セリ

三友炭礦 石炭鑛 位 置 福島縣石城郡内郷村

採炭箇所減少シ目下僅ニ三尺炭ヲ採掘スルノミナリ

越賀炭礦 石炭鑛 位 置 福島縣石城郡内郷村

採炭箇所減少シタルヲ以テ從來使用セシ「ランカシヤ」汽罐一臺並ニ附屬煙突等ヲ取除キ且捲揚機ノ使用ヲ廢セリ

宮尾炭礦 石炭鑛 位 置 福岡縣田川郡勾金村外一町

本鑛山ニ於テハ四十二年六月下旬ヨリ八尺層ノ採掘ヲ休止セリ

添田炭礦 石炭鑛 位 置 福岡縣田川郡添田村

運搬不便ニシテ收利ナキニ依リ庄分坑及大浦坑ノ探掘ヲ休止セリ

穂波炭礦 石炭鑛 位置 福岡縣嘉穂郡穂波村外一村 收

炭況不振ノ爲メ本坑捲揚機及坑外「エンドレス」ノ運轉ヲ休止シ唯タ本坑上部ノ坑口ヨリ其附近ニ於ケル炭層ヲ探掘シ人力ヲ以テ之ヲ搬出シ僅少ノ出炭ヲ爲スニ止メタリ

上山田炭礦 石炭鑛 位置 福岡縣嘉穂郡熊田村外一村 三菱合資會社

本鑛山ニ於テハ第三坑内ノ稼行ヲ中止シ專ラ第一及第二坑ノ探炭ノミヲ行ヘリ

平山炭礦 石炭鑛 位置 福岡縣嘉穂郡唯井村外一村 福田鑛業株式會社

炭況不振ノ爲メ第三坑及第五坑ノ探掘ヲ休止セリ

宮崎豐州炭礦 石炭鑛 位置 福岡縣田川郡川崎村 宮崎一

炭況不振ノ爲メ四十二年六月以來五尺第二坑ノ探炭ヲ汽罐燃料用ノ外探掘ヲ中止シ專ラ本卸及鐵管卸ノ探炭ノミニ縮少セリ又尺無第二坑ハ探掘終了ニ付八月中旬廢坑シ第三坑ハ浸水ノ爲メ

七月ヨリ探掘ヲ中止シタリ

柚之木原炭礦 石炭鑛 位置 佐賀縣小城郡北多久村外一村 助

本鑛山ニ於テハ炭況不振ノ爲メ從來探掘シタル二枚炭ノ探掘ヲ廢止シ本坑ヲ休止セリ

赤坂口炭礦 石炭鑛 位置 佐賀縣杵島郡北方村外一村 好

探掘終了ノ期近ツキタルヲ以テ事業ヲ縮少セリ

杵島炭礦 石炭鑛 位置 佐賀縣杵島郡北方村 神田一太郎

本鑛山ニ於テハ經費節減ノ爲メ七月ヨリ片盤及卸坑道ノ進掘ヲ休止シ從來ノ操業區域ヲ縮少セリ

杵島第二鑛 石炭鑛 位 置 佐賀縣杵島郡北方村 田島信夫

本鑛山ハ經費節減ノ爲メ十月ヨリ片盤及卸坑道ノ進掘ヲ中止シ以テ坑内作業區域ヲ縮少セリ

熊泊鑛山 硫黃鑛 位 置 渡島國茅部郡白尻村 遠藤吉平

本鑛山ハ鑛量ノ缺乏ニ依リ探鑛及製鍊ヲ中止シ專ラ探鑛ニ從事ス

古部鑛山 硫黃鑛 位 置 渡島國茅部郡尾札部村 渡島鑛業株式會社

本鑛山ニ於テハ鑛石ノ品位不良トナリ豫期ノ結果ヲ見ルコト能ハサリシヲ以テ漸次縮少ヲ行ヒ現今ニ於テハ燒取釜二個ヲ設備スルニ過キス

潟沼鑛山 硫黃鑛 位 置 宮城縣玉造郡温泉村 小林定次郎

本鑛山ハ收支償ハサル爲メ休業セリ

總計

其他(坑内)

落磐

坑外

鑛山變災=於ケル即死及重傷者原因別

(就業人員=對スル千分率)

瓦斯爆發

6

5

4

3

2

1

0

年次

三二

三三

三四

三五

三六

三七

三八

三九

四〇

四一

四二

